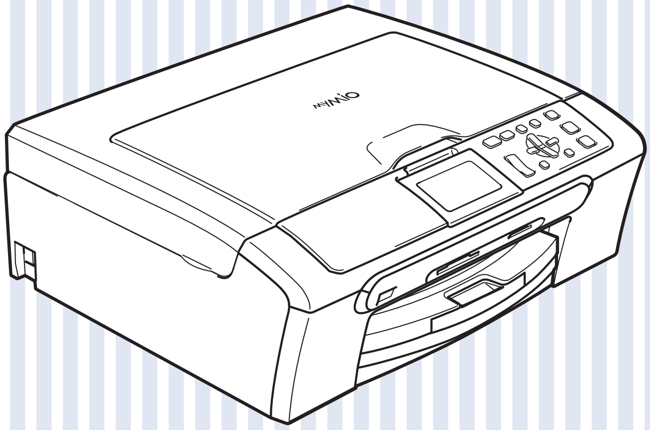
ユーザーズガイド ～パソコン活用編～



やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
3ページをご覧ください。

3ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド「こんなときは」で調べる ▶ ユーザーズガイド

2 サポート ブラザー 検索 ▶ ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

3 お客様相談窓口で相談［ブラザーコールセンター］ 0120-590-381

受付/9:00～20:00（土曜・祝日～17:00）
※日曜・当社指定休日は除きます。
ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

オンラインユーザー登録 ▶ https://regist.brother.jp/

Version B

本書の見かた

● 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
(メモアイコン)	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
(矢印)	参照先などを記載しています。

● 本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、DCP-350C を使用しています。他のモデルをお使いの場合、操作パネルの説明は該当するボタンに読み替えてください。

必要なソフトウェア

本製品をプリンタやスキャナとして使うには、付属の CD-ROM に収録されているドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。

パソコンとの接続やドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。

注意

■ 本書に掲載されている画面は、お使いの OS や環境によって、実際の画面と異なることがあります。

画面で見るマニュアルについて

画面で見るマニュアル（HTML 形式）の画面と操作を説明します。
※ この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

● 表紙



1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 機能一覧／仕様などについて説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 「画面で見るマニュアル」を印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
5	サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のホームページに移動します。
6	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。

● 内容



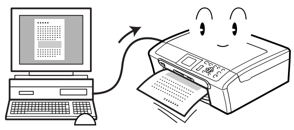
1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	現在のページを印刷します。
5	次のページに移動します。
6	操作内容を表示します。
7	現在のページの最上部に移動します。
8	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
9	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」※ネットワークモデルのみ ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 「画面で見るマニュアル」を印刷する方法を説明しています。
10	中見出し・小見出しです。
11	大見出しです。
12	トップページに移動します。

やりたいこと目次

● プリンタ

● プリンタとして使う

本製品とパソコンを接続して、プリンタとして利用できます。

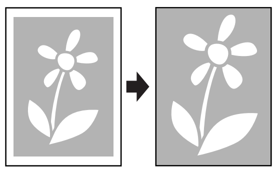


[Windows® の場合]
10 ページ
[Macintosh® の場合]
84 ページ

● 記録紙いっぱいに印刷する [ふちなし印刷]

余白が出ないように、写真やハガキなどにいっぱいに印刷できます。

Windows® では付属ソフト FaceFilter Studio を利用すると、より簡単に設定できます。

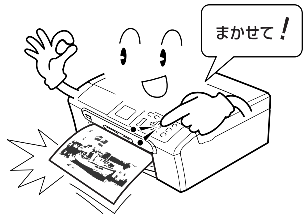


[Windows® の場合]
23 ページ
[Macintosh® の場合]
84 ページ

● 設定を選んで印刷する [おまかせ印刷]

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、印刷できます。

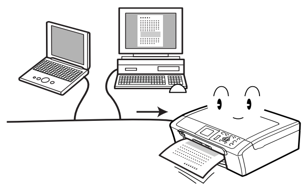
(Windows® のみ)



[Windows® の場合]
13 ページ

● ネットワークプリンタとして利用する

本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。



[Windows® の場合]
9 ページ
[Macintosh® の場合]
83 ページ

● 写真を印刷したり修整したりする [FaceFilter Studio]

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したり、赤目の修正や表情の変化などができます。

(Windows® のみ)

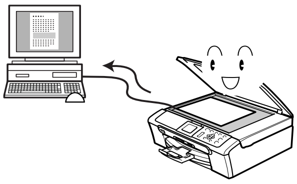


[Windows® の場合]
23 ページ

● スキャナ

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する

本製品とパソコンを接続して、スキャナとして利用できます。



[Windows® の場合]

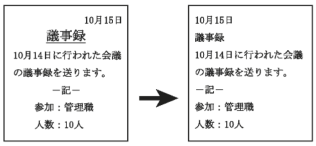
29 ページ

[Macintosh® の場合]

90 ページ

● 文字を修正できるようにスキャンする [Presto!® PageManager®]

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。



[Windows® の場合]

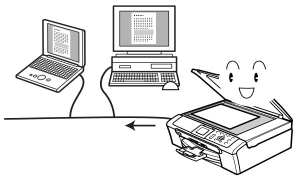
41 ページ

[Macintosh® の場合]

91 ページ

● ネットワークスキャナとして使う

本製品をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。



[Windows® の場合]

29 ページ

[Macintosh® の場合]

97 ページ

● よく使うスキャン設定を登録する [ControlCenter]

あらかじめ、よく使う設定を登録しておくと、ボタンをクリックするだけで設定した内容でスキャンができます。



[Windows® の場合]

71 ページ

[Macintosh® の場合]

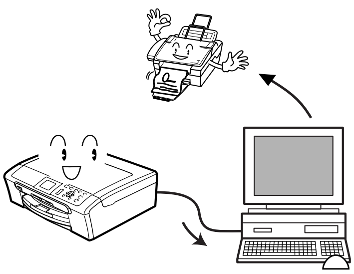
114 ページ

● PC-FAX

● パソコンからファクスを送る [PC-FAX 送信]

パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。

※ネットワーク環境にも対応しています。



[Windows® の場合]

45 ページ

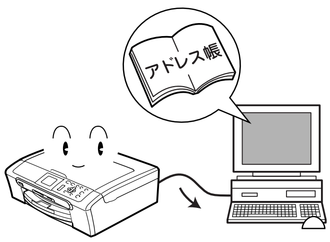
[Macintosh® の場合]

99 ページ

● アドレス帳を利用する [PC-FAX アドレス帳]

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows メールや Outlook Express、Outlook のアドレス帳データを使用することもできます。

（Windows ® のみ）



[Windows® の場合]

47 ページ

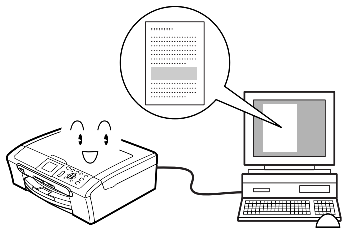
[Macintosh® の場合]

100 ページ

● 受信したファクスをパソコンで確認する [PC-FAX 受信]

受信したファクスを本製品と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）

※ネットワーク環境にも対応しています。



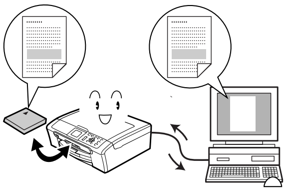
[Windows® の場合]

54 ページ

● フォトメディアキャプチャ

● メディアをリムーバブルディスクとして利用する

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。



[Windows® の場合]

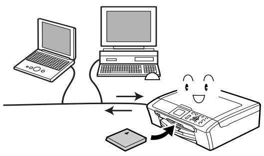
59 ページ

[Macintosh® の場合]

103 ページ

● ネットワークでメディアを利用する［ネットワークメディアアクセス］

ネットワークで接続された複数のパソコンから、本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアにアクセスします。



[Windows® の場合]

60 ページ

[Macintosh® の場合]

103 ページ

● その他

● パソコンからインク残量を確認する［ステータスモニタ］

現在のインク残量を確認できます。



[Windows® の場合]

11 ページ

[Macintosh® の場合]

117 ページ

● スキャナ、PC-FAX などをかんたんに起動する［ControlCenter］

スキャナや PC-FAX、リモートセットアップ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。



[Windows® の場合]

67 ページ

[Macintosh® の場合]

110 ページ

目次

Windows®

第 1 章 プリンタ

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をプリンタとして使用する場合、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
パソコンとの接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

こんなことができます

本製品は、高品質のインクジェットプリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもパソコンからのデータを印刷できます。
ネットワーク環境ではネットワークプリンタとして使用できます。

以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷 「高速」モードを使うことで 1 分間に最高22～25 枚のフルカラー印刷/27～30枚のモノクロ印刷ができます。印刷時間は印刷する内容によって違います。 ※モデルによって数値は異なります。	● 1200 × 6000dpi 出力 特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度 1200 × 6000dpi で印刷します。	● 経済的な印刷コスト なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。
● 多彩な記録紙対応 本製品は普通紙、インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルム、はがき、および封筒に対応します。 （ラベル紙には対応していません。）	● USB(Universal Serial Bus) 2.0 フルスピードに対応 本製品の USB ポートはコンピュータとの通信に対応します。	● 画質強調 本製品は印刷する画像に対して、より鮮やかに、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

本製品では、双方向印字と片方向印字が選べます。片方向印字のほうが高画質ですが、印刷スピードは遅くなります。

記録紙について

本製品をプリンタとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド「記録紙のセット」

印刷する

本製品をプリンタとして使うときは、「通常使うプリンタ」として設定し、各種の印刷設定を行います。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

2 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。（最初は「おまかせ印刷」タブが表示されています。）



3 必要に応じて各項目を設定する

設定内容の詳細について

⇒ 13 ページ「印刷の設定を変更する」

4 ［OK］をクリックする

設定した内容が有効になり、［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］をクリックする

ファイルが印刷されます。

次回の印刷から本製品が選ばれ、設定した内容で印刷されます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。液晶ディスプレイに「データが残っています」と表示されている場合、残っているデータを消します。

1 停止/終了 を押す

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド「印刷品質をチェックする」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

1 停止/終了 を押す

印刷がキャンセルされます。

ファクスを送受信中に印刷する

ファクスを送受信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。
ただし、受信したファクスを印刷している間は、印刷が一時的に停止します。ファクスの出力が完了したあとで、印刷が再開されます。

印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）

使用しているパソコンから、本製品の印刷状況やインクの残量、記録紙の有無などを確認できます。
ブラザー純正のインクや記録紙など、消耗品をご購入いただくためのサイトにジャンプすることもできます。

注意

■ 1 色でもインクカートリッジが「インク切れ」になると、本製品はモノクロ / カラーともに印刷をすることができなくなります。このときにファクスが送られてきた場合は、本製品はメモリー代行受信でファクスを受信します。

■ 1 色でもインクカートリッジが「まもなくインク切れ」になると、本製品はカラーファクスの受信を行いません。そのため、定期的にインクの残量を確認することをお勧めします。

本製品の状態を確認する

パソコンを起動すると、タスクトレイに本製品の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの色で本製品の状態を見分けることができます。

● 緑色のアイコン 	本製品は正常に動作しています。
● 黄色のアイコン 	本製品は警告状態です。
● 赤色のアイコン 	本製品に何らかのエラーが発生しています。エラーが発生しているときは、本製品の状態を確認してください。問題が解決しないときは、ユーザーズガイドをご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド「困ったときは」

お買い上げ時の設定ではタスクトレイにアイコンが表示されますが、デスクトップに表示させることもできます。表示させる内容や場所を変更するときは、タスクトレイのアイコンを右クリックして、［オプション］-［詳細設定］を選択して、設定します。

ステータスモニタのウインドウを表示する

1 **タスクトレイのアイコン  をダブルクリックする**

ステータスモニタのウィンドウが表示されます。

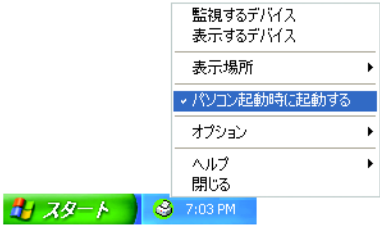


タスクトレイにアイコンが表示されていない場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］を選びます。

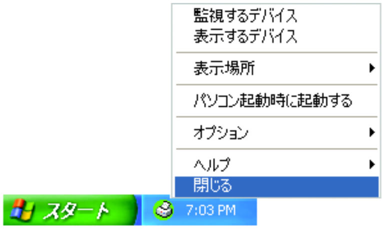
ステータスモニタを表示しない

ステータスモニタを常に表示しないときは、以下の手順で操作します。

1 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［パソコン起動時に起動する］を選んでチェックをはずす



2 タスクトレイのアイコンを右クリックし、［閉じる］を選ぶ



ステータスモニタのアイコンがタスクトレイから消えます。

> タスクトレイにアイコンがない状態でステータスモニタを表示する場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［ステータスモニタ］を選びます。

純正消耗品のご案内サイトにジャンプする

ブラザー純正の消耗品についての情報を提供しているホームページを表示することができます。

1 ［ブラザー純正消耗品のご案内］をクリックする



Internet ExplorerなどのWebブラウザが起動し、ブラザー純正消耗品のご案内ページが表示されます。

印刷の設定を変更する

パソコンから印刷するときは、印刷する内容に合わせてプリンタドライバで設定を行います。プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

注意

- お使いの OS によっては利用できない項目があります。
- お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

「おまかせ印刷」タブの設定

本製品のプリンタドライバには、あらかじめ「通常印刷（A4)」「L 判いっぱいに写真印刷」など 11 種類の印刷設定が登録されています。登録されている設定を使うと、目的に応じた印刷が簡単に行えます。

最新のプリンタドライバは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。



（*）の部分には、用紙種類、印刷品質、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、印刷順序、カラー / モノクロの現在の設定が表示されます。

「おまかせ印刷」タブは、表示しないようにすることもできます。⇒ 22 ページ「「おまかせ印刷」タブを表示させたくないときは」

① **項目**

目的に応じた印刷設定を選び、［読みこみ］をクリックすると、設定内容が読み込まれます。

設定項目について詳しくは、以下をご覧ください。

印刷部数、印刷方向、部単位で印刷
⇒ 14 ページ「「基本設定」タブの設定」
ウォーターマーク
⇒ 18 ページ「「拡張機能」タブの設定」

おまかせ印刷の設定内容を確認するときは

おまかせ印刷の設定を確認するときは、「おまかせ印刷」タブの［現在の設定］をクリックします。

おまかせ印刷の設定を変更するときは

おまかせ印刷の設定を変更するときは、「拡張機能」タブの「その他の特殊機能」から行います。
⇒ 22 ページ「「おまかせ印刷」の設定を変更する」

「基本設定」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、[OK] をクリックします。標準設定に戻すときは [標準に戻す] をクリックします。



(＊) の部分には、用紙種類、印刷品質、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、印刷順序、カラー / モノクロの現在の設定が表示されます。

① 用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面 (通信面)

② 乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

③ 印刷品質

印刷する文書に必要な (最適な) 印刷解像度を選びます。選べる解像度は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	解像度 (dpi)	内容	印刷速度
高速	600 × 150	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く (「標準」の 2 ～ 3 倍の速度) 、インクの消費量も少なくなります。	速い
標準 (はやい)	600 × 300	通常の印刷のとき (品質と印刷時間のバランスがとれています。)	
標準	600 × 600	「標準 (はやい)」より、さらに高画質で印刷するとき	
きれい	1200 × 1200	精密な文章や画像を印刷するとき	
写真	1200 × 2400	精密な画像を印刷するとき	
写真 (最高画質)	1200 × 6000	さらに精密な画像を印刷するとき	遅い

印刷速度は印刷品質 (解像度) と関係があり、品質が良いほど印刷速度は遅くなります。

「高速」を選ぶと、「標準 (はやい)」に比べて、インクの消費量を約 40%おさえることができます。

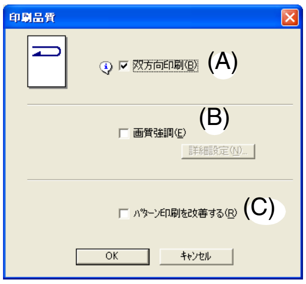
● 用紙種類と印刷品質の関連について

記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は以下のとおりです。お買い上げ時は、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	高速 / 標準（はやい）/ **標準** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**標準** / きれい
写真用はがき 宛名面	高速 / 標準（はやい）/ 標準 / **きれい**

印刷品質の設定

[設定] をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷品質の設定を行います。



(A)　双方向印刷

チェックするとプリントヘッドが両方向から印刷を行います。
チェックを外すと、片方向印刷になります。印刷速度は遅くなりますが印刷品質は向上します。

設定	内容
チェックなし	一方向から印刷します。（印刷品質が良い）
チェックあり	双方向から印刷します。（印刷速度が速い）

(B)　画質強調

チェックすると、「詳細設定」の内容が有効になります。この機能は、画像を自動分析し、鮮明さ、ホワイトバランス、色の濃さを改善するものです。
画像データの容量やパソコンの仕様によっても異なりますが、この処理には数分かかります。
画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効です。
メガピクセルのデジタルカメラで撮影した画像データは、画質強調しないで印刷してください。



- カラー濃度
  画像中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。画像の色の量を増減し、色あせた画像や弱々しい画像を改善できます。
- ホワイトバランス
  画像中の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。
- シャープネス
  画像中の輪郭部分のシャープさを強調して、はっきりとした画像に調整できます。
- 自動イメージ処理
  チェックすると、より鮮やかに印刷するよう画像を自動的に補正します。この設定を選ぶと、印刷速度は遅くなります。
- 明るさ
  画像全体の明るさを調整します。
- コントラスト（濃淡）
  画像のコントラスト（濃淡）を調整します。
- 赤・緑・青
  画像中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
  例）全体に赤みを加えるには、赤の割合を増やします。

(C)　パターン印刷を改善する

パソコンで表示されるパターンと異なる印刷がされる場合に選択します。

④ ふちなし印刷

⑸ の「用紙サイズ」でふちなし印刷ができる用紙が選ばれると自動的にチェックされます。
ふちなし印刷ができる用紙の条件は以下のとおりです。

用紙サイズ	A4/ レター /A6/ ハガキ /L 判 /2L 判 / ポストカード / インデックスカード
用紙種類	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 宛名面 / 写真用はがき 裏面（通信面）
印刷品質	標準（はやい）/ 標準 / きれい / 写真

アプリケーションによってはふちなし印刷が有効にならない場合があります。詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）：http://solutions.brother.co.jp/ をご覧ください。

FaceFilter Studio を使うと、簡単にふちなし印刷ができます。

⇒ 23 ページ「FaceFilter Studio で写真を印刷する」

⑤ 用紙サイズ

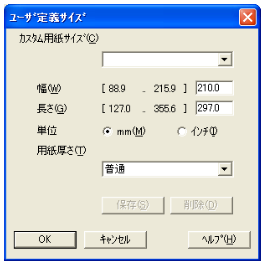
記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選びます。選択肢にないサイズの記録紙に印刷したいときは、「ユーザー定義サイズ」を選んで、任意の用紙サイズを登録します。

設定	サイズ
A4	210 × 297mm
レター	216 × 279mm
リーガル	216 × 356mm
エグゼクティブ	184 × 267mm
B5（JIS）	182 × 257mm
A5	148 × 210mm
A6	105 × 148mm
ポストカード	102 × 152mm
インデックスカード	127 × 203mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm
C5 封筒	162 × 229mm
Com-10	105 × 241mm
DL 封筒	110 × 220mm
モナーク	98 × 191mm
洋形 4 号封筒	105 × 235mm
ユーザー定義サイズ（*）	88.9 × 127.0mm （最小） 215.9 × 355.6mm （最大）
A3 B4（JIS） レジャー	自動的に「印刷用紙サイズ」に合った大きさに合わせます。

ふちなし印刷ができる用紙には（フチナシ）がついています。ふちなし印刷を行う場合は（フチナシ）の用紙を選んでください。

●（*）ユーザー定義サイズ

ユーザー定義サイズは、以下の手順で設定します。



(1)　使用する用紙のサイズをはかる

(2)　「ユーザー定義サイズ」を選ぶ

(3)　用紙サイズに名前を付ける

(4)　用紙サイズの単位（ミリまたはインチ）を選ぶ

(5)　長さと幅を入力する

(6)　用紙の厚み（普通 / 厚紙 / 封筒）を選ぶ

普通紙を使う場合は「普通」を、厚い用紙を使う場合は「厚い」を、封筒を使う場合は「封筒」を選びます。

(7)　［保存］をクリックする

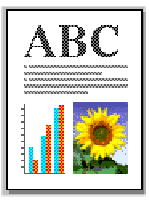
入力した名前で、用紙サイズが登録されます。

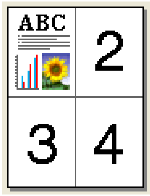
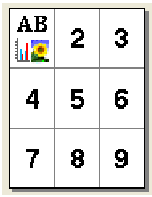
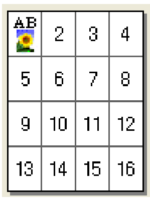
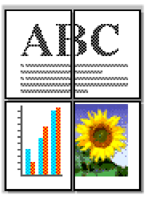
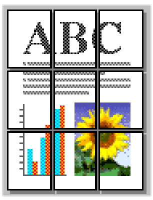
アプリケーションによっては、用紙サイズの設定が無効になる場合があります。お使いのアプリケーションに、適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。

最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何も印刷されないことがあります。

⑥ レイアウト

1 ページのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、拡大して 1 ページを複数の用紙に印刷できます。

設定	内容
1 ページ	そのままのサイズで印刷します。 

設定	内容
2 ページ	1 枚の記録紙に 2 ページを縮小して印刷します。 
4 ページ	1 枚の記録紙に 4 ページを縮小して印刷します。 
9 ページ	1 枚の記録紙に 9 ページを縮小して印刷します。 
16 ページ	1 枚の記録紙に 16 ページを縮小して印刷します。 
縦 2 ×横 2 倍	4 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。 
縦 3 ×横 3 倍	9 枚の記録紙に 1 ページを分割して印刷します。 

⑦ ページの順序

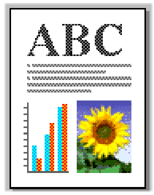
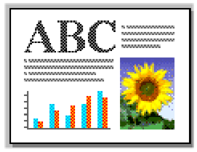
ページの配置順序を選択します。

⑧ 仕切り線

レイアウトで「2 ページ」または「4 ページ」を選んだ場合は、ページの間に実線または破線の境界線を印刷できます。

⑨ 印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を設定します。

縦	横
	

⑩ 部数

印刷する部数と印刷順序を設定します。

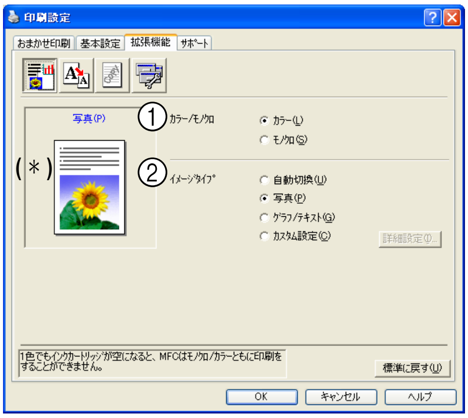
設定	内容
部数	印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。
部単位で印刷	チェックすると、文書一式が一部印刷されてから、設定した部数だけ印刷が繰り返されます。チェックを外すと、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。
逆順で印刷	チェックすると、文書が最後のページから印刷されます。

「拡張機能」タブの設定

選んだ設定を確定するときは、［OK］をクリックします。標準設定に戻すときは、［標準に戻す］をクリックします。

印刷品質の設定

をクリックすると、印刷品質の設定を変更できます。



（＊）の部分には、カラー / モノクロ、イメージタイプの現在の設定が表示されます。

① カラー / モノクロ

「カラー」か「モノクロ」を選びます。

設定	内容
カラー	カラーで印刷されます。
モノクロ	256 階調のグレースケールで印刷されます。

② イメージタイプ

印刷したい文書のタイプに合わせてイメージタイプを選びます。

設定	内容
自動切換	プリンタドライバが、画像種類に応じて最も適切な色補正およびハーフトーンパターンを自動選択します。一般的に、本文や図表は鮮明に印刷され、画像はソフトに印刷されます。（通常は、このモードを使用してください。）
写真	写真のとき選びます。
グラフ/テキスト	図表（グラフ、切り抜き等）を含む文書のとき選びます。
カスタム設定（＊）	色補正およびハーフトーンパターンを任意に設定したいときに選びます。

● （＊）カスタム設定

「カスタム設定」を選び、［詳細設定］をクリックすると、「色補正」と「ハーフトーン」を設定できます。

(A)
(B)



(A)　色補正

色補正の設定を選びます。

設定	内容
モニターに合わせる	印刷する色をパソコンのモニターで見ている色に最も近くなるように調整します。
通常	写真のとき選びます。（自然な色に調整されます。）
鮮やか	図表（グラフ、切り抜き等）を含む文書のとき選びます。（より鮮やかな色に調整します。）

(B)　ハーフトーン

ハーフトーンを表現する点の位置を決めます。画像にあわせて適切な方法を選んでください。

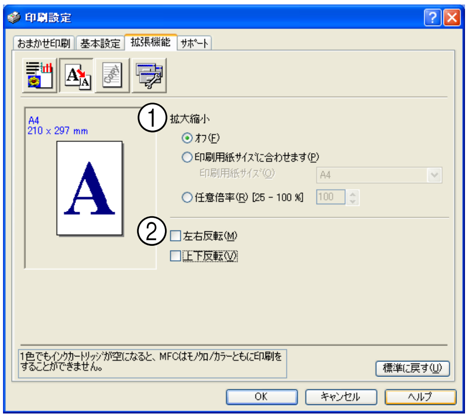
設定	内容
誤差拡散	点を無作為に配置して、ハーフトーンを表現します。図表や微妙な影を持つ写真を印刷するのに適しています。
ディザ	色をあらかじめ決められたパターンで配置して、ハーフトーンを表現します。色の境界がはっきりしている図や業務用グラフなどを印刷するのに適しています。

用紙種類や印刷品質選択の組み合わせによっては、選べないハーフトーン設定もあります。

ページの設定

をクリックして、ページに関する設定を変更できます。

ページの設定では、文書の印刷サイズを変更できます。



① **拡大縮小**

印刷したい内容の拡大縮小を設定します。

設定	内容
オフ	拡大縮小しないとき選びます。 （画面に表示されたとおりに印刷されます。）
印刷用紙サイズに合わせます	印刷に使用する用紙サイズに合わせて、文書のサイズを拡大または縮小するとき選びます。
任意倍率	縮小したいとき選びます。 （25 ～ 100％の間で、任意の倍率を設定します。）

② **左右反転**

チェックすると、左右を反転して印刷できます。

> 「用紙種類」で「OHP フィルム」を選んでいるときは設定できません。

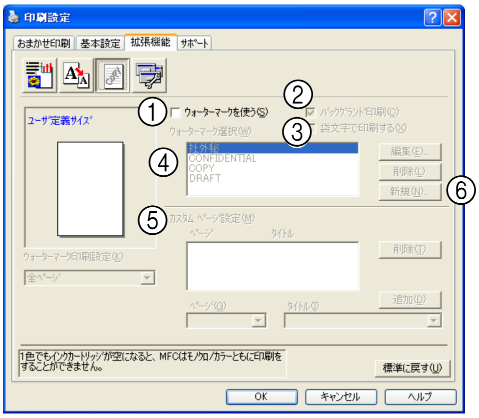
③ **上下反転**

チェックすると、上下を反転して印刷できます。

ウォーターマークの設定

をクリックして、ウォーターマーク（透かし絵）に関する設定を変更できます。

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れます。あらかじめ設定されたウォーターマークを選んだり、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。



① **ウォーターマークを使う**

チェックすると、ウォーターマークを印刷できます。「ウォーターマーク選択」から使用したいウォーターマークを選んでください。

② **バックグランド印刷**

チェックすると、文書の背後にウォーターマークが印刷されます。チェックを外すと、文書の一番上（前面）にウォーターマークが印刷されます。

③ **袋文字で印刷する**

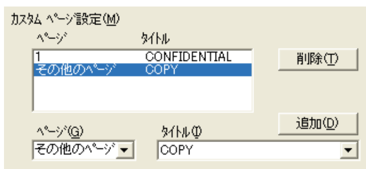
チェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

④ **ウォーターマークの印刷設定**

ウォーターマークの印刷のしかたを選びます。

設定	内容
全ページ	ウォーターマークが全ページに印刷されます。
開始ページのみ	ウォーターマークが開始ページにのみ印刷されます。
2 ページ目から	ウォーターマークが 2 ページ目から印刷されます。
カスタム（＊）	ウォーターマークを印刷するページと内容をそれぞれ設定します。

（＊）「カスタム」を選んだときは、「カスタム ページ設定」でページと内容を設定します。

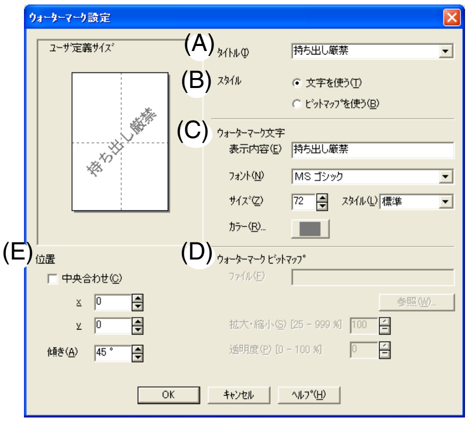


⑤ **ウォーターマークの編集／削除**

設定	内容
[編集]	ウォーターマークを選び、[編集] をクリックすると、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更できます。
[削除]	ウォーターマークを選び、[削除] をクリックすると、すでに設定されているウォーターマークを削除できます。

⑥ **ウォーターマークの新規追加**

新しいウォーターマークを追加したい場合は、「ウォーターマークを使う」をチェックして、[新規] をクリックします。以下の画面で、ウォーターマークを設定します。



(A)　**タイトル**

作成するウォーターマークのタイトルを入力します。ここで設定したタイトルは、「ウォーターマーク選択」に表示されます。

(B)　**スタイル**

新しく設定するウォーターマークが、文字かビットマップかを選びます。

(C)　**ウォーターマーク文字**

ウォーターマークが文字のときは、「表示内容」に文字を入力し、フォント、サイズ、スタイル、カラーを設定します。

(D)　**ウォーターマークビットマップ**

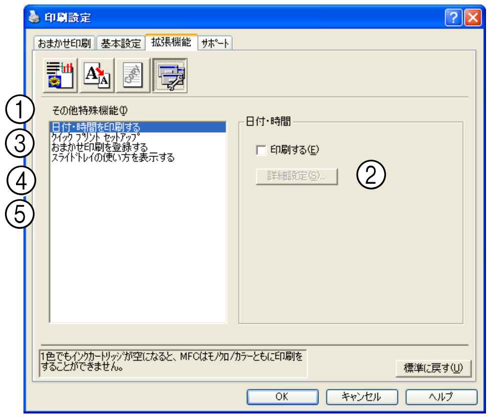
ウォーターマークがビットマップ形式の画像のときは、[参照] をクリックするか、「ファイル」にデータが保存されている場所のパスを入力して指定します。また、画像のサイズや画像の濃さ（透明度）を設定できます。

(E)　**位置**

ウォーターマークを入れる位置を設定します。

その他の設定

をクリックして、文書に印刷する日付や時間を設定したり、印刷設定をすばやく行うための設定ができます。

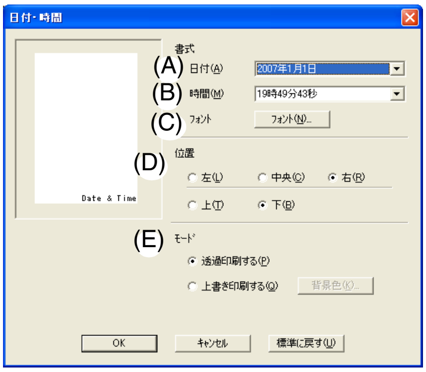


① **日付と時間の印刷**

[印刷する] をチェックすると、設定した日付と時刻を文書に印刷できます。

② **[詳細設定]**

[印刷する] をチェックし、[詳細設定] をクリックすると、日付と時間を設定できます。（[日付・時間] ダイアログボックスが表示されます。）



(A)　**日付**

日付を選びます。

(B)　**時間**

時間を選びます。

(C)　**フォント**

フォントを選びます。

(D)　**位置**

日付を印刷する位置を選びます。

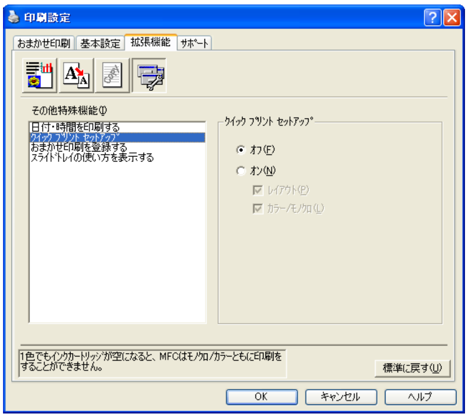
(E)　**モード**

日付と時間の背景を選びます。

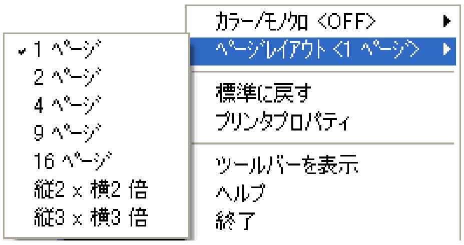
設定	内容
透過印刷する	日付と時刻の背景に色を入れないとき設定します。
上書き印刷する	日付と時刻の背景に色を入れるとき設定します。背景色は、[背景色] をクリックし、色を指定します。

③ **クイックプリントセットアップ**

クイックプリントセットアップで「オン」を選ぶと、「レイアウト」と「カラー／モノクロ」の設定をすばやく選べます。



タスクトレイのアイコンをクリックするだけで、設定を確認できます。



設定	内容
オフ	クイックプリントセットアップを設定しません。
オン	クイックプリントセットアップを設定します。
レイアウト	チェックすると、タスクトレイのアイコンをクリックして、現在の「レイアウト」設定を確認できます。
カラー／モノクロ	チェックすると、タスクトレイのアイコンをクリックして、現在の「カラー／モノクロ」設定を確認できます。

この機能を使う場合は Windows® のスタートメニューから［設定］-［プリンタと FAX］を選び、お使いのモデルの印刷設定を選んで設定を行ってください。

④ **おまかせ印刷を登録する**

「おまかせ印刷を登録する」をクリックすると、おまかせ印刷の設定を登録したり、「おまかせ印刷」タブを表示しないように設定できます。

⇒ 22 ページ「「おまかせ印刷」の設定を変更する」

⑤ **スライドトレイの使い方を表示する**

「スライドトレイの使い方を表示する」をクリックすると、スライドトレイの使い方を説明したヘルプを表示するかどうかを設定できます。

「サポート」タブの確認

本製品にインストールされているドライバのバージョンや設定情報、サポート情報を参照できます。



① Brother Solutions Center
（ブラザーソリューションセンター）

クリックすると、よくある質問（Q&A）、最新のドライバやソフトウェアのダウンロードなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

② **ブラザー純正消耗品のご案内**

クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

③ **設定の確認**

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

「おまかせ印刷」の設定を変更する

「おまかせ印刷」の設定を変更して、よく使う印刷設定を登録できます。

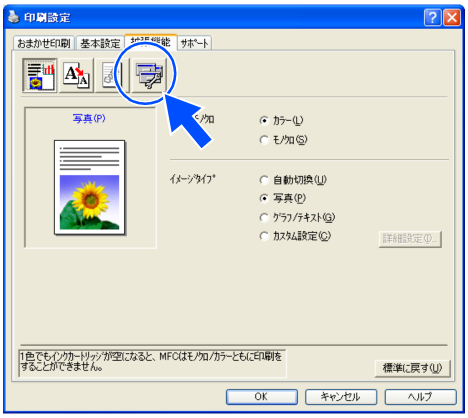
1 プリンタドライバで、登録したい印刷設定に変更する

⇒ 13 ページ「印刷の設定を変更する」

2 「拡張機能」タブをクリックする

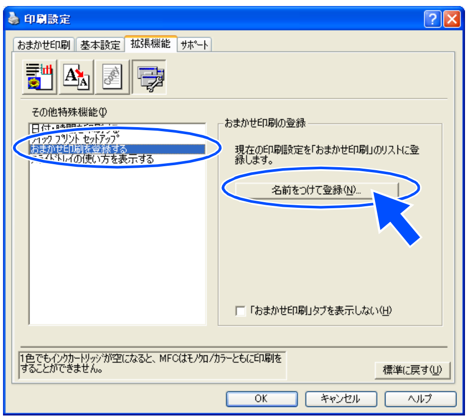


3 ［その他の特殊機能］をクリックする



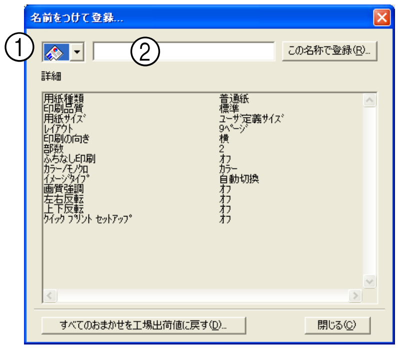
「その他の特殊機能」の設定画面が表示されます。

4 「おまかせ印刷を登録する」をクリックし、［名前をつけて登録］をクリックする



「おまかせ印刷」の印刷設定一覧が表示されます。

5 アイコン（1）を選び、登録したい名称を入力（2）する

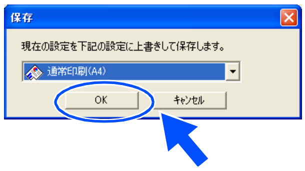


6 ［この名称で登録］をクリックする

設定を保存するダイアログボックスが表示されます。

7 上書きしたい設定を選び、［OK］をクリックする

「ユーザー設定」以外の設定内容も書き換えることができます。



設定した印刷設定が、「おまかせ印刷」に登録されます。

おまかせ印刷の設定内容をお買い上げ時の設定に戻すときは

おまかせ印刷の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、手順 5 の画面で、［すべてのおまかせを工場出荷値に戻す］をクリックします。

◆ おまかせ印刷の設定が、すべてお買い上げ時の設定に戻ります。

「おまかせ印刷」タブを表示させたくないときは

「おまかせ印刷」タブを表示させたくないときは、手順 4 の画面で、「「おまかせ印刷」タブを表示しない」をチェックします。

◆「おまかせ印刷」タブが表示されなくなります。

注意

■ 印刷部数、印刷方向、部単位で印刷、ウォーターマークに関する設定は、「基本設定」タブまたは「拡張機能」タブで別途設定を行う必要があります。

⇒ 14 ページ「「基本設定」タブの設定」

⇒ 18 ページ「「拡張機能」タブの設定」

FaceFilter Studio で写真を印刷する

FaceFilter Studio は、簡単に写真をふちなし印刷できるソフトウェアです。赤目を修正したり、明るさを自動調整することができます。



FaceFilter Studio を使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されている FaceFilter Studio をインストールする必要があります。

- FaceFilter Studio のインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- ここでは、FaceFilter Studio の基本的な操作を説明します。操作の詳細については、FaceFilter Studio のヘルプをご覧ください。ヘルプは、メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio Help］を選んで開いてください。

FaceFilter Studio を起動する

1 本製品の電源を入れる

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［FaceFilter Studio］－［FaceFilter Studio］を選ぶ

本製品の電源が入った状態で初めて FaceFilter Studio を起動すると、次の画面が表示され、本製品が自動的に検出されます。



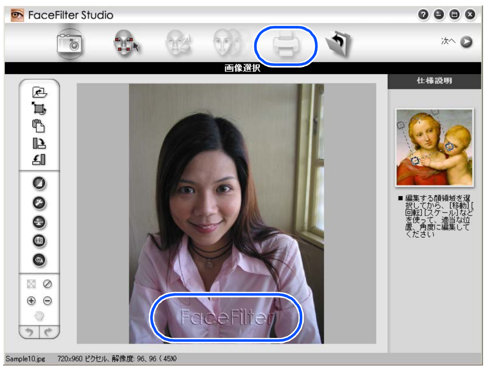
3 ［継続］をクリックする



FaceFilter Studio がすべての機能が使える状態で起動します。



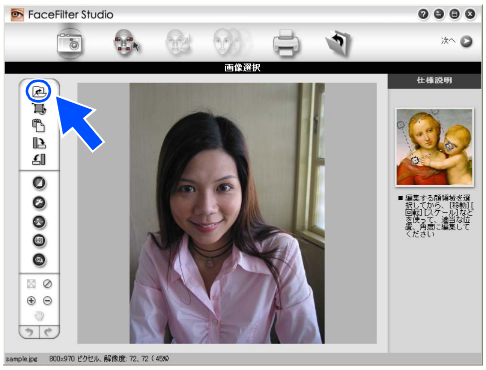
- 本製品の電源が切れた状態で FaceFilter Studio を起動すると、FaceFilter Studio が機能を制限された状態で起動します（機能制限版）。画面上部にあるメニューの印刷アイコンは薄く表示され、印刷機能は使用できません。また、写真は「FaceFilter」のすかし文字入りで表示・保存されます。



- FaceFilter Studio のすべての機能を利用するには、本製品の電源を入れてから、FaceFilter Studio を起動してください。

写真を印刷する

1 **［開く］をクリックして、印刷するデータを選ぶ**



2 **メニューバーの［印刷］をクリックする**



3 **左の［印刷］をクリックする**



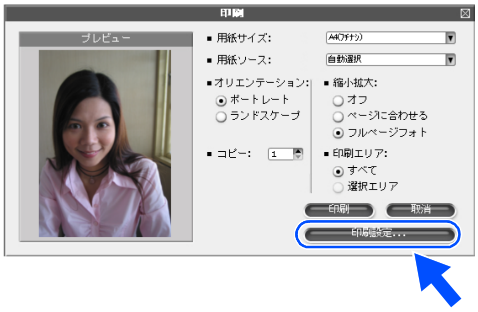
印刷ダイアログボックスが表示されます。

4 **用紙サイズ、用紙の向き、部数などを設定する**

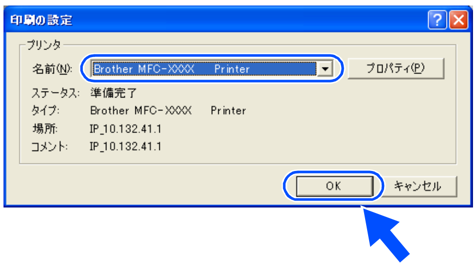


写真をふちなし印刷するには、「拡大／縮小」の「フルページフォト」、および「用紙サイズ」の「（フチナシ）」を選択してください。

5 **［印刷設定］をクリックする**



6 **本製品を選択し、［OK］をクリックする**



ブラザー写真光沢紙を使用するには、［プロパティ］をクリックし、プリンタドライバのダイアログボックスで、「用紙種類」と「印刷品質」を設定してください。

7 **［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする**



写真が印刷されます。

明るさを自動調整する（スマートポートレート）

スマートポートレートは、顔がはっきり見えるよう、写真の明るさを自動調整する機能です。

1. **［開く］をクリックして、写真を選ぶ**
2. **スマートポートレートアイコンをクリックする**

   明るさが自動的に調整されます。
3. **スライダーをドラッグして、明るさを調節する**
4. **［OK］をクリックする**

   明るさが確定します。

赤目を修正する

フラッシュ撮影時の赤目を修正します。

1. **［開く］をクリックして、写真を選ぶ**
2. **赤目修正アイコンをクリックする**

   赤目が自動的に修正されます。

> 「自動赤目探知」を使用すると、写真内のすべての赤目が自動的に探知され、点線の四角で囲まれます。「赤目限界値」のスライダーをドラッグすると、囲まれた領域の色を調節できます。

3. **［OK］をクリックする**

   赤目が修正されます。

表情リストを印刷する

FaceFilter Studio では、表情テンプレートの利用または手動で、写真の人物の表情をさまざまに変化させることができます。「表情の選択」の操作では、選択した表情の一覧をプレビュー表示したり印刷したりもできます。



FaceFilter Studio をアンインストールする

1. **［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［FaceFilter Studio］－［Uninstall FaceFilter Studio］を選ぶ**

   画面の指示に従って、アンインストールします。

Windows®

第 2 章 スキャナ

スキャナとして使う前に

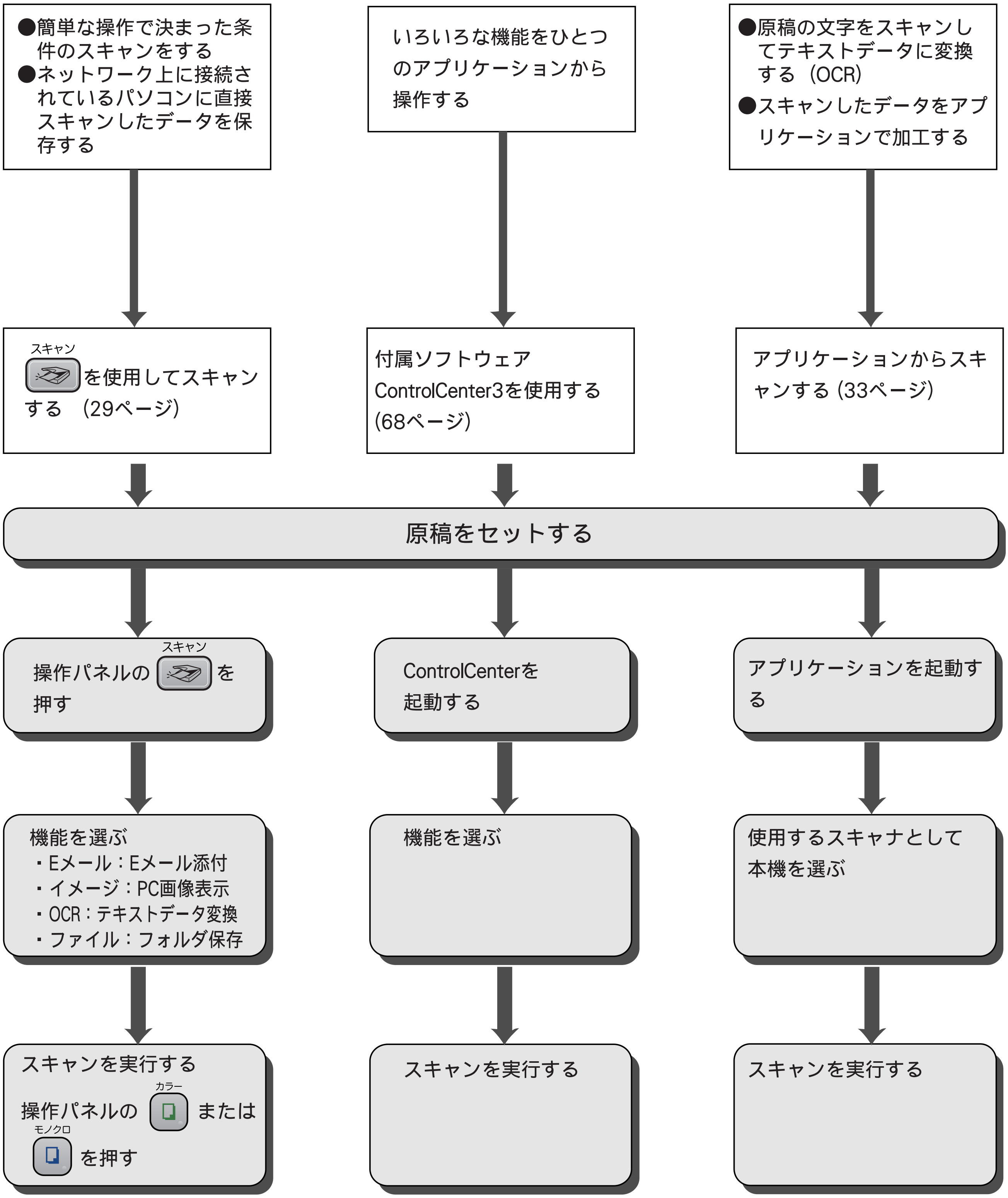
ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。
また、Presto!® PageManager® を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- Presto!® PageManager® は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、HTML 形式、PDF 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Adobe® Acrobat® で編集できます。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：nj.nsc@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」は Windows でデジタルカメラやスキャナなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからネットワークスキャン機能を使うには、スキャンしたデータを受信するパソコンでスキャンボタンの登録が必要です。スキャンボタンの登録が完了すると、本製品のスキャンボタンを押したときに選択項目として登録したパソコンの名前が表示されます。詳しくは「画面で見るマニュアル」をご覧ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「ネットワークスキャン機能を使う」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。



ボタンの形はモデルによって異なります。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。

原稿をスキャンする

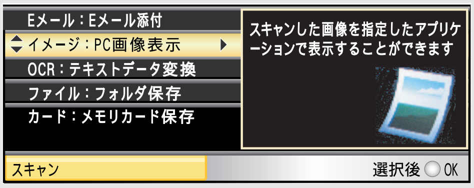
原稿をスキャンして、ファイルとしてパソコンに保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

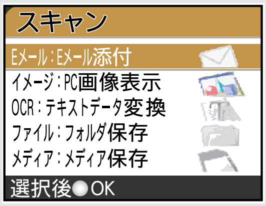
2 スキャン を押す

以下の画面が表示されます。

- カラーワイド液晶モデルの場合



- カラー液晶モデルの場合



- 液晶 1 行モデルの場合

スキャン　E メール▲▼

↕

▲▼デセンタク &OK ボタン

3 ▲▼ で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す

DCP-155C、DCP-350C、MFC-650CD/CDW の場合、5 へ

液晶 1 行モデルの場合は、「スキャンイメージ」を選びます。

4 （ネットワーク接続の場合）

▲▼ で保存先のパソコンを選び、OK を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

> 本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。
>
> パソコンにパスワードが設定されている場合は、保存先のパソコンを選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※修正するには クリア/バック を押してください。

5 モノクロ または カラー を押す

パソコンの設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。

⇒ 69 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿がスキャンされます。

ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

ControlCenter からスキャンするときの設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。

⇒ 69 ページ「スキャンの設定を変更する」

PC-FAX を使う前に

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成したファイルを、ファクスとして送信できます。また、送付書を添付して送ることもできます。
PC-FAX を使うときは、あらかじめ PC-FAX アドレス帳に相手先を登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に設定できます。（⇒ 47 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」）また、個人情報を登録しておくと、ファクスや送付書に自分の名前や電話番号を自動的に入れることができます。

注意

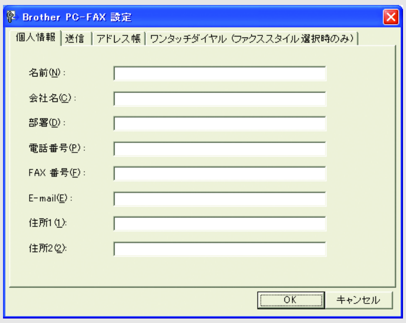
- 型番の先頭に「DCP」がついている機種をお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
- Windows Vista™ をお使いの場合、Internet Explorer 7 からの送信はできません。
- Windows® 2000/XP をお使いの場合は、Administrator 権限でログオンしてください。

個人情報を登録する

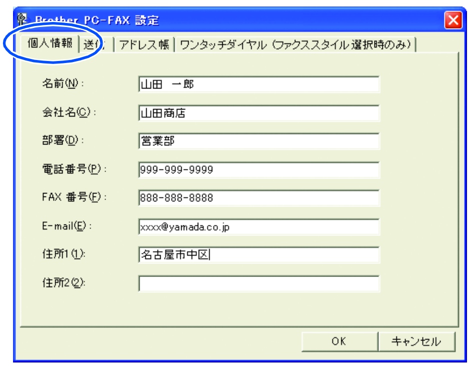
ファクスのヘッダーと送付書に挿入される個人情報を設定します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。



2 「個人情報」タブをクリックし、個人情報を入力する



3 ［OK］をクリックする

個人情報が保存されます。

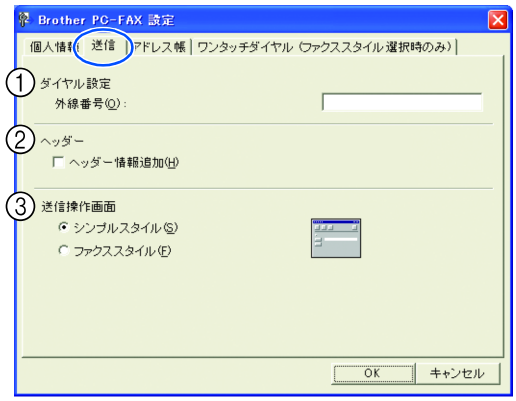
送信の設定をする

ファクス送信に必要な設定をします。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 「送信」タブをクリックし、送信に関する設定をする



① ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号がある場合に入力します。この番号は、PBX やビジネスホンへ接続した環境で必要になる場合があります。本製品を単独で電話回線に接続する場合、入力は必要ありません。

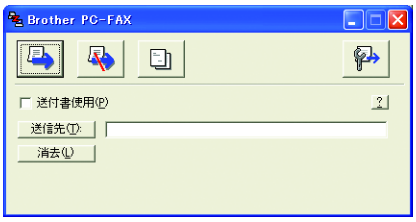
② ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合に、チェックします。

③ 送信操作画面

「シンプルスタイル」か「ファクススタイル」のどちらかを選びます。

- シンプルスタイル



- ファクススタイル



3 ［OK］をクリックする

送信設定が保存されます。

アドレス帳を設定する

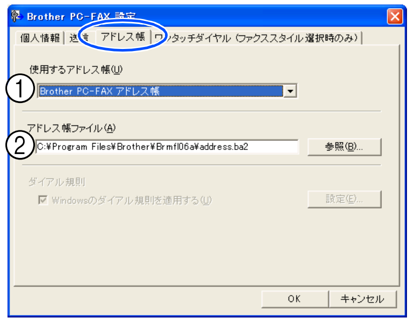
相手先のファクス番号を PC-FAX アドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

> 「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。（47 ページ）

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 ［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をする



① 使用するアドレス帳

送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。

通常は「BrotherPC-FAX アドレス帳」を選びますが、Window メールや Outlook、OutlookExpress のアドレス帳を利用する場合は、「Windows　メールアドレス帳」、「Outlook アドレス帳」、または「OutlookExpress アドレス帳」を選びます。

② アドレス帳ファイル

ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてアドレス帳ファイルを選びます。

> Microsoft Outlook 2000/2002/2003/2007 に対応しています。
>
> Outlook のアドレス帳を使用するには、Outlook が通常使用するメールソフトに設定されている必要があります。

3 ［OK］をクリックする

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

パソコンからファクスを送る

パソコン上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。あらかじめ送信の設定（43 ページ）で選んだ「ファクススタイル」または「シンプルスタイル」のどちらかの画面で送信します。

注意

- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）
- Windows Vista™ をお使いの場合、Internet Explorer 7 からの送信はできません。

ファクススタイルでファクスを送る

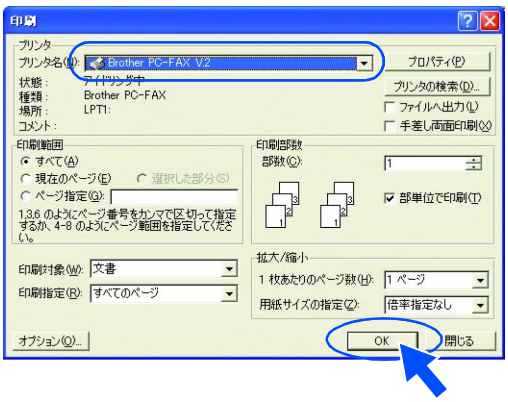
送信の設定（43 ページ）で送信操作画面を「ファクススタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX V.2」を選び、［OK］をクリックする



ファクス送信画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

- ダイヤルパッドをクリックする
- ワンタッチダイヤルボタンをクリックする
- ［アドレス帳］をクリックし、アドレス帳から選ぶ
- ［再ダイヤル］をクリックし、最近送った送付先から選ぶ



- 「ワンタッチダイヤルボタン」や「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。
  ⇒ 47 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。
- ［再ダイヤル］をクリックすると、最近送った相手先が、新しい順に 5 件表示されます。
- 送付書を付ける場合は、送付書使用ボタンをクリックして黄色に点灯させます。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。
  送付書を編集・作成する手順について
  ⇒ 53 ページ「送付書を作成する」
- Windows メールや Outlook、OutlookExpress のアドレス帳のデータを使用することもできます。
  ⇒ 44 ページ「アドレス帳を設定する」

5 ［送信］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは

(1)　［中止］をクリックする
　◆ 送信が中止されます。

シンプルスタイルでファクスを送る

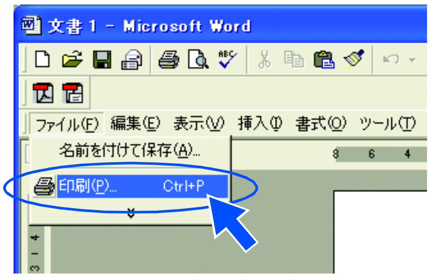
送信の設定（⇒ 43 ページ「送信の設定をする」）で送信操作画面を「シンプルスタイル」に設定しているときは以下の手順で送信します。

注意

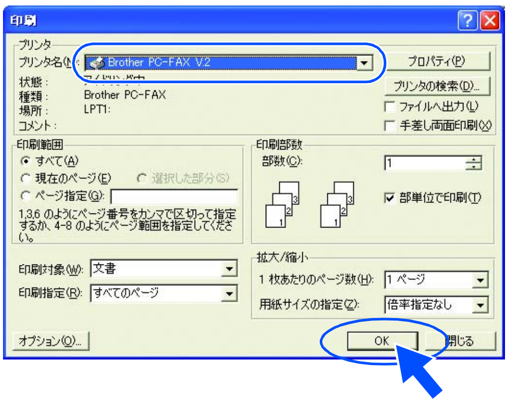
■「シンプルスタイル」の送信操作画面では、ワンタッチダイヤルは使用できません。

1 パソコン上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

2 アプリケーションで［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3 「プリンタ名」で「Brother PC-FAX V.2」を選び、［OK］をクリックする

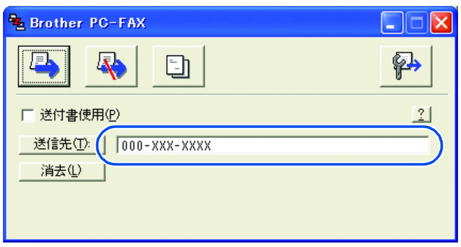


ファクス送信画面が表示されます。

4 ［送信先］にファクス番号を入力する

ファクス番号は以下の方法で入力できます。

- キーボードから番号を入力する
- ［送信先］をクリックし、アドレス帳から選ぶ

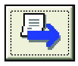


「アドレス帳」を使うには、あらかじめ PC-FAX アドレス帳でファクス番号を登録しておく必要があります。
⇒ 47 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」

ファクス番号を間違えて入力したときは、［消去］をクリックして入力し直します。

送付書を付ける場合は、「送付書使用」を ON にします。付けない場合はもう一度クリックして消灯させます。
送付書を編集・作成する手順について
⇒ 53 ページ「送付書を作成する」

Windows メールや Outlook、OutlookExpress のアドレス帳のデータを使用することもできます。
⇒ 44 ページ「アドレス帳を設定する」

5  をクリックする

ファクスが送信されます。

PC-FAX アドレス帳を利用する

PC-FAX を使うときは、PC-FAX アドレス帳に相手先のファクス番号を登録しておくと送信先を簡単に指定できます。PC-FAX アドレス帳データは、CSV 形式などで抽出（エクスポート）、読み込み（インポート）できるので、他のアプリケーションで使っているアドレス帳データも活用できます。また、ファクスを送るときは、送付書を添付することもできます。

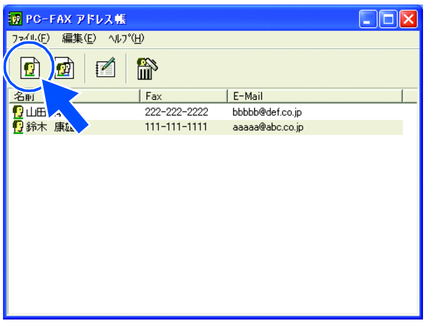
PC-FAX アドレス帳に相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に送信先を登録します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［(モデル名)］－［PC-FAX 送信］－［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

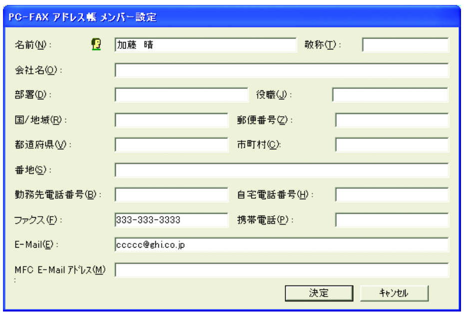
2 をクリックする



相手先を登録する画面が表示されます。

3 相手先の情報を入力する

「名前」は必ず入力します。

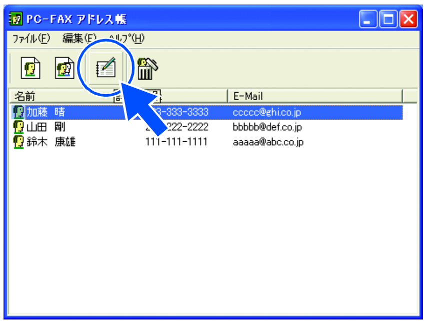


4 ［決定］をクリックする

相手先の情報がPC-FAXアドレス帳に保存されます。

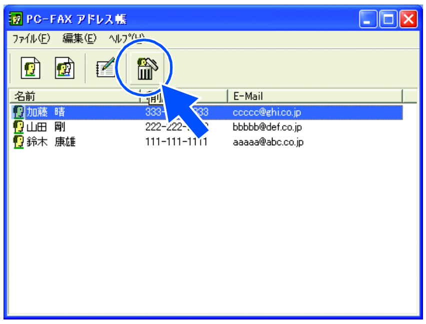
PC-FAX アドレス帳の登録情報を修正する

修正したい相手先をクリックし、をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。



PC-FAX アドレス帳の登録情報を削除する

(1)　削除したい相手先をクリックし、をクリックする



◆ 削除を確認するメッセージが表示されます。

(2)　［OK］をクリックする

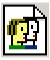
◆ 相手先が削除されます。

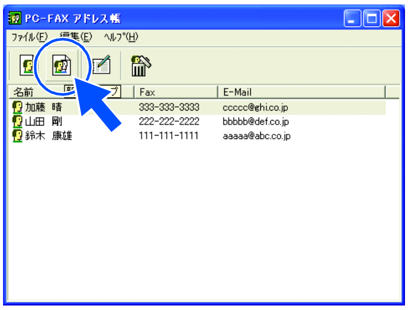
グループダイヤルに相手先を登録する

同じ内容のファクスを複数の相手先に何度も送信するときは、相手先を「グループ」として登録しておくと便利です。送信先として「グループ」を指定することで、一度の操作でグループに登録された複数の相手先にファクスを送ることができます。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム（プログラム）] - [Brother] - [（モデル名）] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

PC-FAX アドレス帳を設定する画面が表示されます。

2  をクリックする



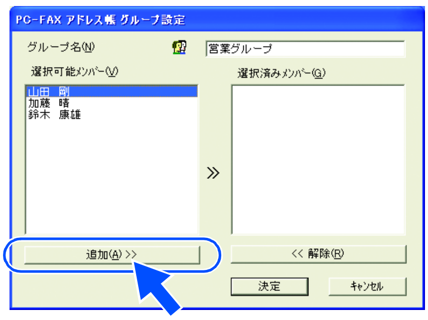
グループを登録する画面が表示されます。

3 グループ名を入力する



4 「選択可能メンバー」に表示されている相手先から、グループとして設定したい相手先を選び、[追加] をクリックする

グループに登録したいメンバーについてこの操作を繰り返します。



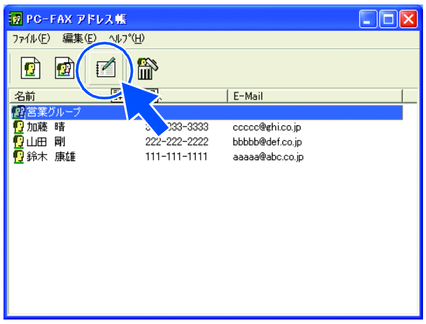
選んだ相手先がグループのメンバーとして「選択済みメンバー」に表示されます。

5 [決定] をクリックする

グループの設定がPC-FAXアドレス帳に登録されます。

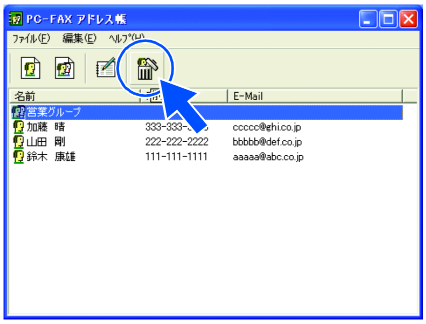
グループの登録情報を修正する

情報を修正したいグループをクリックし、 をクリックします。登録情報を設定する画面が表示されるので、情報を修正します。



グループの登録情報を削除する

(1) 削除したいグループをクリックし、 をクリックする



◆ 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

(2) [OK] をクリックする

◆ グループの設定が削除されます。（グループに登録されている個々の相手先の情報は削除されません。）

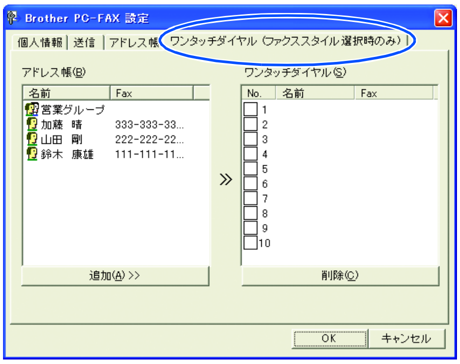
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

PC-FAX アドレス帳に登録した相手先やグループは、「ワンタッチダイヤル」として 10 件まで登録できます。よく使う相手先などを登録しておくと、ファクスの送信先を簡単に指定できます。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX 設定］を選ぶ

PC-FAX を設定する画面が表示されます。

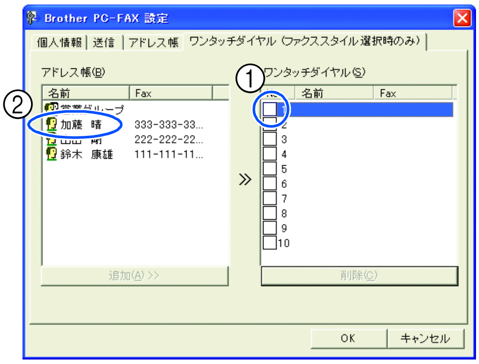
2 ［ワンタッチダイヤル］タブをクリックする



ワンタッチダイヤルを登録する画面が表示されます。

3 「ワンタッチダイヤル」の登録したいダイヤル番号をクリックする

ワンタッチダイヤルの番号をクリックし (1)、アドレス帳から登録する名前をクリックして (2) 選びます。



4 ［追加］をクリックする

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 ［OK］をクリックする

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

ワンタッチダイヤルの設定を削除する

(1) 「ワンタッチダイヤル」に登録されている相手先をクリックする

(2) ［削除］をクリックする

アドレス帳をエクスポートする

PC-FAX で設定したアドレス帳は、CSV 形式のファイル、または「Vcard」としてエクスポートすることができます。

> 「Vcard」は、異なるプログラム、異なるハードウェアの間で使用できる「電子名刺」です。「Vcard」の情報は、拡張子「.vcf」のファイルとして保存されます。E メールで個人情報をやり取りするために規格化された情報で、E メールの添付ファイルの機能を拡張し、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りすることができます。

CSV 形式のファイルでエクスポートする

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

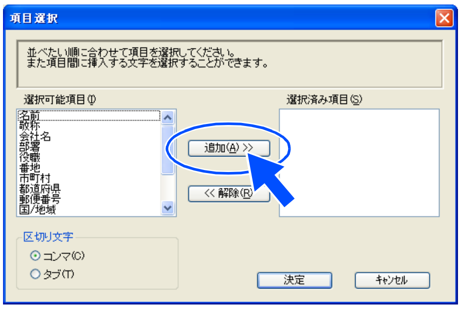
PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[エクスポート] - [Text] を選ぶ

相手先を登録する画面が表示されます。

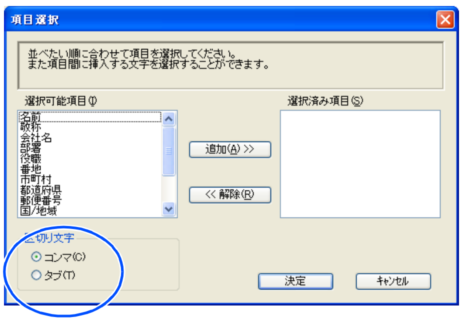
3 エクスポートしたい項目を選び、[追加] をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



4 「区切り文字」を選ぶ

エクスポートされた項目の間が、「タブ」または「コンマ」のどちらで区切られるかを選びます。



5 [決定] をクリックする

6 ファイル名を入力し、[保存] をクリックする

PC-FAXアドレス帳のデータがCSV形式で保存されます。

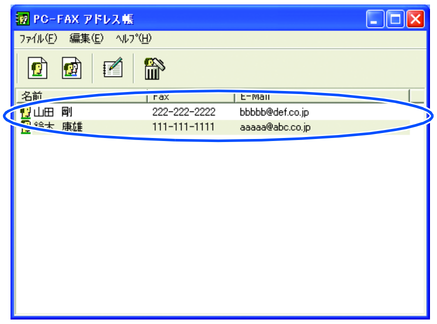
Vcard（vcf 形式）でエクスポートする

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 送信］-［PC-FAX アドレス帳］を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

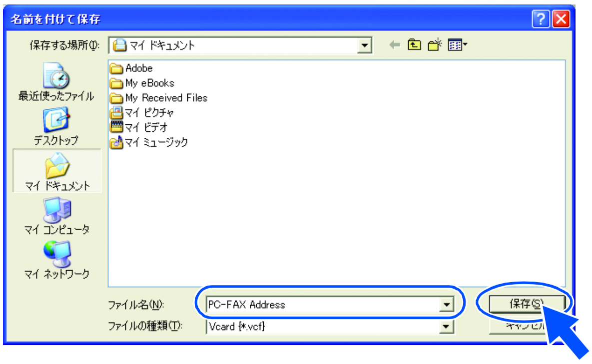
2 エクスポートしたい相手先をクリックする

追加したい相手先について、この操作を繰り返します。



3 ［ファイル］メニューから、［エクスポート］-［Vcard］を選ぶ

4 ファイル名を入力し、［保存］をクリックする



PC-FAX アドレス帳のデータが vcf 形式で保存されます。

アドレス帳をインポートする

PC-FAX で設定するアドレス帳は、CSV 形式のファイル、または「Vcard」をインポートすることができます。

CSV 形式のファイルをインポートする

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム (プログラム)] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

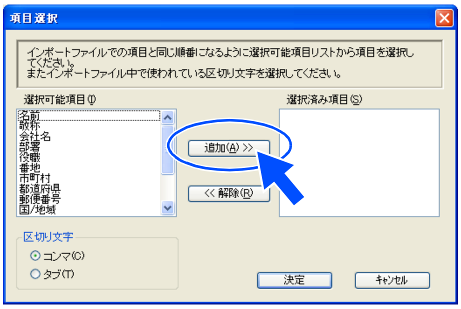
PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[インポート] - [Text] を選ぶ

相手先を登録する画面が表示されます。

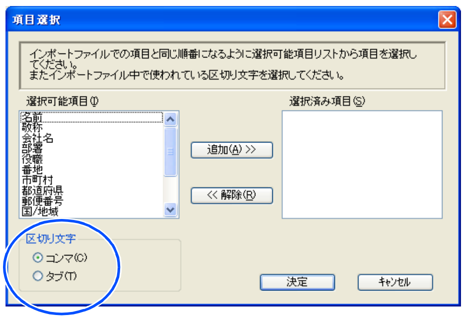
3 インポートしたい項目を選び、[追加] をクリックする

追加したい項目について、この操作を繰り返します。



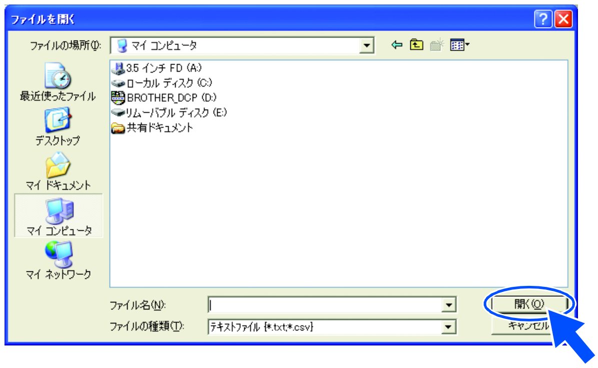
4 「区切り文字」を選ぶ

インポートしたいファイルで使用されている区切り文字を、「タブ」または「コンマ」から選びます。



5 [決定] をクリックする

6 ファイルを選び、[開く] をクリックする



選んだ CSV 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

Vcard (vcf 形式) のファイルをインポートする

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 送信] - [PC-FAX アドレス帳] を選ぶ

PC-FAXアドレス帳を設定する画面が表示されます。

2 [ファイル] メニューから、[インポート] - [Vcard] を選ぶ

3 ファイルを選び、[開く] をクリックする

選んだ vcf 形式のデータが PC-FAX アドレス帳に追加されます。

送付書を作成する

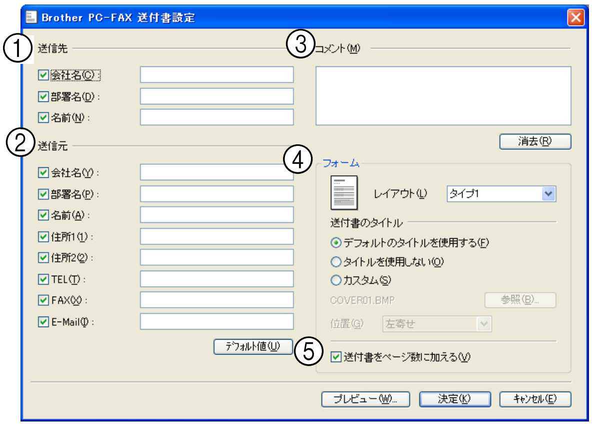
PC-FAX では、ファクスを送信するときに「送付書」を添付できます。

1 ファクス送信画面で、［送付書マーク］をクリックする



送付書を設定する画面が表示されます。

2 送付書の情報を入力する



① **送信先**

送信先の情報を入力します。相手先がグループのときは、送付書には印刷されません。アドレス帳から送信先を選んだ場合は、自動的に引用されます。

② **送信元**

送信元の情報を入力します。「個人情報」（43 ページ）が設定されているときは自動的に引用されます。

③ **コメント**

送付書に追加するコメントを入力します。

④ **フォーム**

送付書のスタイルを選びます。

⑤ **送付書をページ数に加える**

チェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

パソコンでファクスを受信する

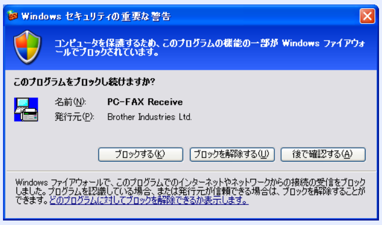
受信したファクスメッセージを画像データとしてパソコンに保存します。

注意

■ ファクスを受信したとき、パソコンの電源が入っていなかったり、パソコンとつながっていなかったときは、本製品に受信データを記憶させておくことができます。

■ PC-FAX 受信は、モノクロのみ対応しています。（カラーファクスを受信すると、データはパソコンに転送されず本製品で印刷されます。）

■ ネットワーク環境で Windows® XP Service Pack 2 または Windows Vista™ をお使いの場合、PC-FAX 受信を起動すると Windows® セキュリティの警告が表示されることがあります。その場合は「ブロックを解除する」を選んでください。



■ PC-FAX 受信をご利用の間は、リモートセットアップの操作はできなくなります。

本製品を PC-FAX 受信モードにする

1 本製品のメニューから、【転送／メモリー受信】を選ぶ

(1) メニュー を押し、▲▼ で【ファクス】を選び、OK を押す

(2) ▲▼ で【応用機能】を選び、OK を押す

(3) ▲▼ で【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ▲▼ で【PC ファクス受信】を選び、OK を押す

3 ▲▼ で受信先のパソコンを選び、OK を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、
< USB >を選びます。

注意

■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。受信するパソコンの名前が表示されない場合は、パソコン上で PC-FAX 受信を起動してください。

本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。

4 ▲▼ で本製品で印刷するかしないかを選び、OK を押す

5 停止/終了 を押す

PC-FAX 受信をするパソコンを変更する場合は、手順 3 で【変更する】を選び、OK を押した後、受信先のパソコンを選んでください。

PC-FAX 受信を起動する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［PC-FAX 受信］-［PC-FAX 受信を起動］を選ぶ

タスクトレイに PC-FAX のアイコンが表示されます。



受信したときの内容を設定する場合は、タスクトレイの PC-FAX アイコン を右クリックして「受信設定」を選びます。



設定できる内容は以下のとおりです。

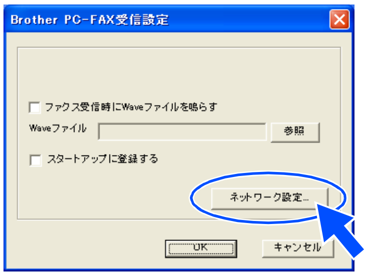
- ファクス受信時に Wave ファイルを鳴らす
  着信音を鳴らすときはチェックボックスを ON にします。着信音にする Wave ファイルも指定します。
- スタートアップに登録する
  パソコンを起動したときに自動的に PC-FAX 受信も起動するときはチェックボックスを ON にします。
- ネットワーク設定（USB 接続の場合は表示されません）
  ネットワーク環境で使用する場合に設定します。クリックすると、IP アドレスやノード名などの設定が行えます。
  ⇒ 55 ページ「PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する」

PC-FAX 受信のネットワーク設定を変更する

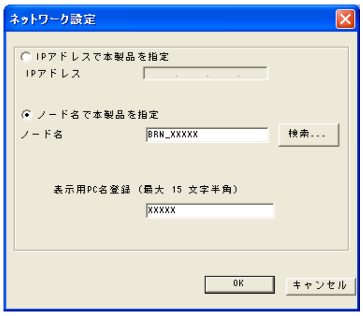
インストール時に設定された本製品を変更するときは、以下の手順に従ってください。

1 タスクトレイの PC-FAX アイコン を右クリックし、「受信設定」を選ぶ

2 ［ネットワーク設定］をクリックする

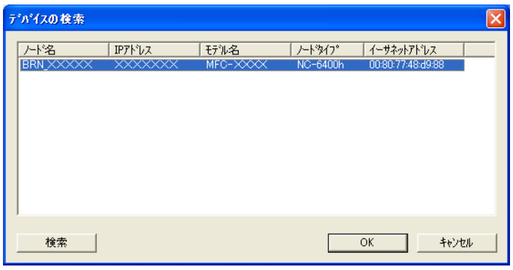


3 本製品の IP アドレスまたはノード名を指定する



IP アドレスまたはノード名のいずれか適切な方法で指定してください。

- IP アドレスで本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力してください。
- ノード名で本製品を指定
  「IP アドレス」に本製品の IP アドレスを入力するか、［検索］をクリックして、一覧から本製品を選択してください。



- 表示用 PC 名登録
  本製品の液晶ディスプレイに表示されるパソコンの名前を設定できます。「表示用 PC 名登録」に入力してください。

受信したときは

ファクスの受信を開始すると、タスクトレイの PC-FAX アイコンがとに点滅します。ファクス受信が終了すると、アイコンがに変わります。

1 をダブルクリックする

「Presto!® PageManager®」が起動します。
受信したデータが保存されている「Faxes」フォルダが自動的に表示されます。

2 ファイル名をダブルクリックして内容を確認する

- 受信したファクスを一度確認すると、アイコンがに戻ります。
- 未読のファクスには、受信した日時のファイル名が付けられています。
  例） Fax 5-20-2007 16:40:21.tif

Windows®

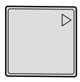
第 4 章 フォトメディアキャプチャ

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

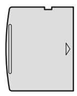
使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、下記のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

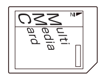
- コンパクトフラッシュ®
  （TYPE1、最大 8GB）



- xD-Picture Card™
  （最大 512MB）
  TypeM ／ TypeH
  （最大 2GB）



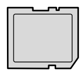
- マルチメディアカード™
  （最大 2GB）



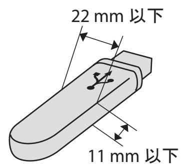
- メモリースティック®（最大 128MB）
  メモリースティック PRO™（最大 8GB）



- SD メモリーカード™
  （最大 2GB）
  SDHC メモリーカード™
  （最大 8GB）



- USB　フラッシュメモリー
  （最大 8GB）



※ メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオも使用できます。
※ メモリースティックデュオ、メモリースティック PRO デュオを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。
※ miniSD カード /microSD カードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。
※ 著作権保護機能には対応していません。

注意

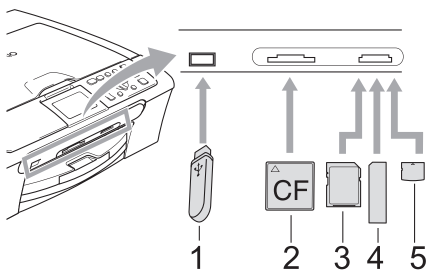
■ スマートメディア、マイクロドライブには対応していません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスする（USB接続のみ）

USB フラッシュメモリー差し込み口にセットした USB フラッシュメモリーや、カードスロットにセットしたメモリーカードなどのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。



①USB フラッシュメモリー

②コンパクトフラッシュ®

③SD- メモリーカード™、マルチメディアカード™

④メモリースティック®、メモリースティック Pro™

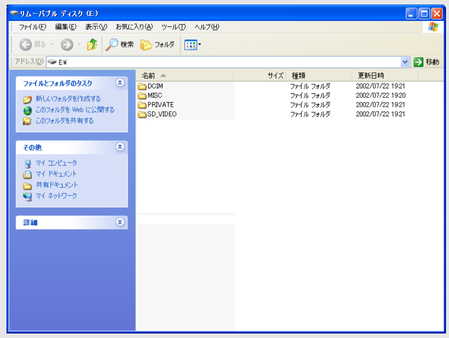
⑤xD-Picture Card™



が点灯します。

2 ［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンをダブルクリックする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。



3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他のパソコンがメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を液晶ディスプレイに表示しているとき、および保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは差し込み口にしっかりと差し込んでください。

デジカメプリント が点灯します。

2 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter］を選ぶ

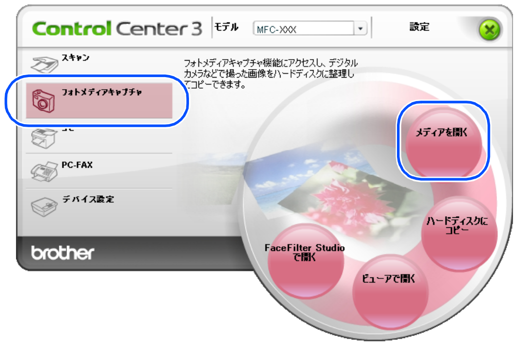
タスクトレイに が表示されます。

3 タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

4 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「メディアを開く」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容がリスト表示されます。

Explorer を起動し、アドレス欄に「ftp://(本製品の IP アドレス)」を入力してもアクセスできます。

5 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、パソコンへコピーしたりできます。

また、パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みも行えます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1. **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照している Windows® のエクスプローラなどをすべて閉じる**
2. **［マイコンピュータ］の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックする**
3. **［取り出し］を選ぶ**

   本製品の デジカメプリント が点滅することがあります。
   （点滅しなくても異常ではありません。）

4. **本製品の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く**

注意

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき（デジカメプリント 点滅中）は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。
- 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、パソコンをすぐに再起動した後、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。パソコンを再起動する前に他のメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。

Windows®

第 5 章 リモートセットアップ

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、パソコンから簡単に行うことができます。

リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX 受信をご利用の間はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX 受信を終了させてから操作してください。

本章では、MFC-650CD の画面を使用して説明しています。

本製品の設定をパソコンから変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変えるときは、以下の手順で操作します。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［リモートセットアップ］を選ぶ

注意

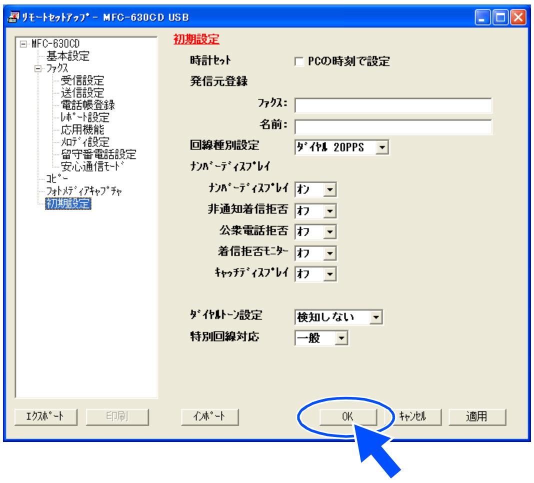
- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。



3 設定し終わったら、［OK］をクリックする



設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

リモートセットアップは、ControlCenter3 からも実行できます。

ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ画面の［検索］をクリックして、表示される機器の一覧から使用する機器を選び、再度設定してください。

その他の操作について

リモートセットアップでは、設定内容をファイルとして保存したり、印刷することができます。



① **エクスポート**

現在の設定内容をファイルに保存します。

すべての設定をファイルに保存する場合は、左上のモデル名を選択して、[エクスポート] をクリックします。

個々の設定をファイルに保存する場合は、保存したい設定を選択して、[エクスポート] をクリックします。

② **印刷**

「電話帳登録（デンワチョウトウロク）」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

③ **インポート**

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ **キャンセル**

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ **適用**

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本製品の電話帳を作成・変更する

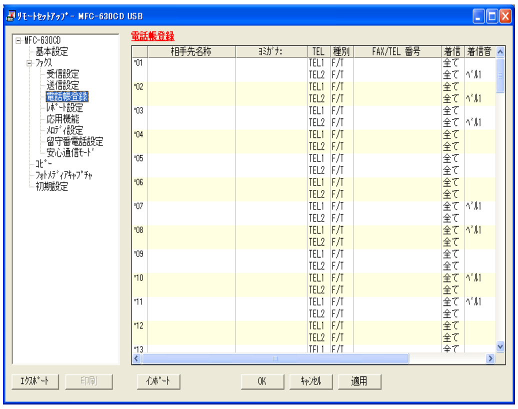
リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号（最大 60 件）に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ



電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

4 「種別」で「F/T」を選ぶ

5 「FAX/TEL 番号」に電話またはファクス番号を入力する

電話・ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」を ON にします。

7 ［OK］をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

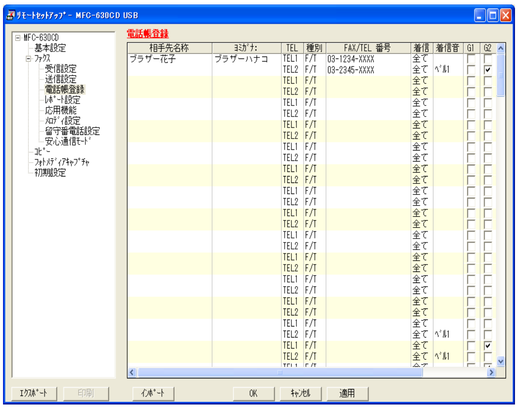
1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。



3 「相手先名称」にグループ名を入力する

4 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

5 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」を ON にします。

6 ［適用］をクリックする

グループダイヤルが登録されます。

Windows®

第 6 章 便利な使い方（ControlCenter3）

ControlCenter3 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなどの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter3 の画面

ControlCenter3 には、「Modern」と「Classic」の 2 種類のスキンが用意されています。どちらも使用できる機能は同じです。

Modern 画面

Classic 画面


(1) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。 ⇒ 69 ページ「スキャン」
(2) カスタム	スキャン時によく使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。 ⇒ 71 ページ「カスタム」
(3) フォトメディアキャプチャ	本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをパソコンから確認できます。 ⇒ 73 ページ「フォトメディアキャプチャ」
(4) コピー	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 ⇒ 77 ページ「コピー」
(5) PC-FAX	スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。受信したファクスを確認することもできます。 ⇒ 79 ページ「PC-FAX」 ※ DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
(6) デバイス設定	本製品のインク残量の確認や、電話帳の登録などが行えます。 ⇒ 81 ページ「デバイス設定」

Modern 画面を使用するには、お使いのパソコンに Adobe Flash Player8.0 以上がインストールされている必要があります。

ControlCenter3 を起動する

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter3］を選ぶ

タスクトレイに が表示されます。

2 タスクトレイの を右クリックして、［開く］を選ぶ

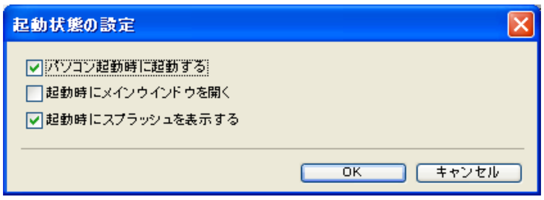
ControlCenter3 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter3 も同時に起動させることができます。

(1) タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選ぶ

◆「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。



(2) 起動時の動作を選ぶ

- パソコン起動時に起動する
  パソコン起動時にControlCenter3が自動的に起動し、タスクトレイで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  ControlCenter3起動時にControlCenter3のメインウィンドウが自動的に起動します。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3) ［OK］をクリックする

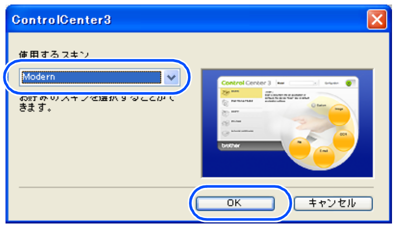
ControlCenter3 のスキンを変更する

「Modern」と「Classic」のどちらかのスキンを選択できます。

1 ［設定］をクリックして、［ControlCenter の設定］-［使用するスキンの選択］を選ぶ

スキンの選択ダイアログボックスが表示されます。

2 「Modern」または「Classic」を選び、［OK］をクリックする



ControlCenter3 のスキンが変更されます。

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

ControlCenter3 からスキャンを実行します。

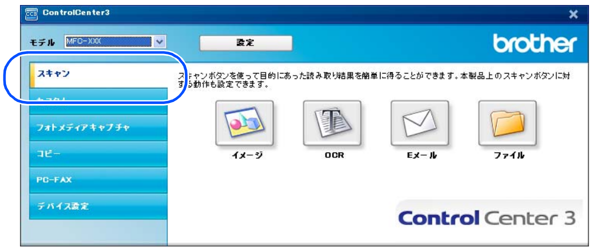
1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「スキャン」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。
- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

「ファイル」を選択した場合、保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
- 保存先フォルダ
  マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ Control Center 3 ¥ Scan
- ファイル形式
  JPG
- ファイル名（Windows® 2000/XP の場合）
  CCFyyyymmdd_xxxxx
  CCF：好みの文字列に変更できます。
  （⇒ 70 ページ「スキャンファイルの設定」）
  yyyy：西暦
  mm：月
  dd：日
  xxxxx：通し番号

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンした場合の設定も、ここで変更できます。

1 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定] を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。

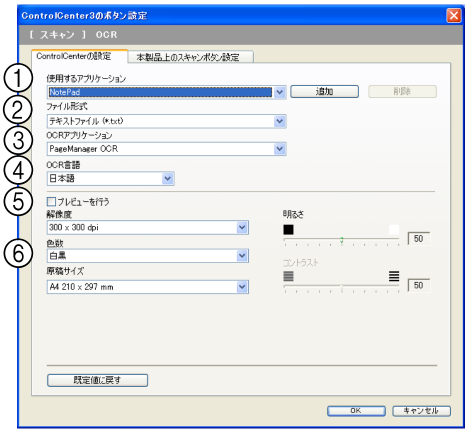
⇒ 70 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 70 ページ「スキャンファイルの設定」

本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本製品上のスキャンボタン設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 [OK] をクリックする

設定が変更されます。

スキャンイメージ /OCR/E メールの設定



①使用するアプリケーション

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

②ファイル形式

データのファイル形式を選択します。

③OCR アプリケーション（「OCR」のみ）

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

④OCR 言語（「OCR」のみ）

変換する言語を選択します。

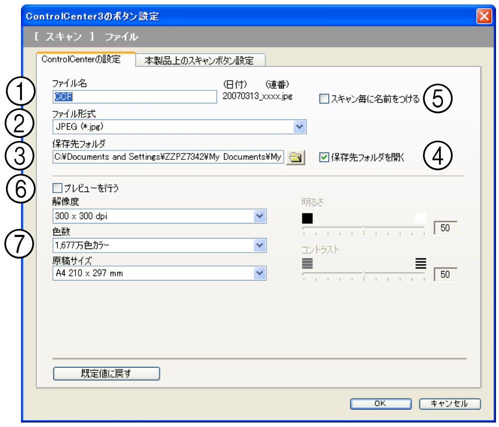
⑤プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3 からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑥解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

スキャンファイルの設定



①ファイル名

ファイル名先頭の文字（プレフィックス）を変更できます。日付部分は変更できません。

②ファイル形式

データのファイル形式を選択します。

③保存先フォルダ

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

④保存先フォルダを開く

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑤スキャン毎に名前をつける

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥プレビューを行う

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。ControlCenter3 からスキャンを行う場合のみ設定できます。

⑦解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

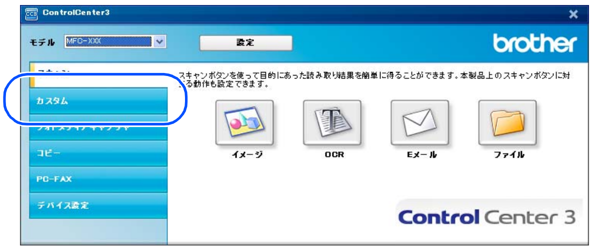
スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

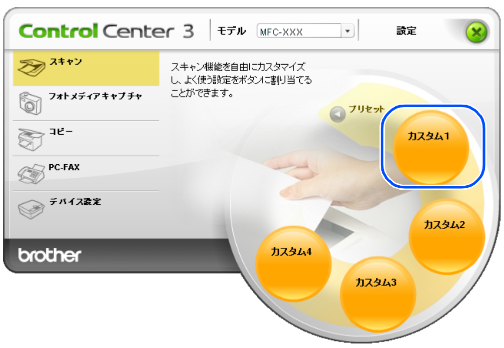


- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

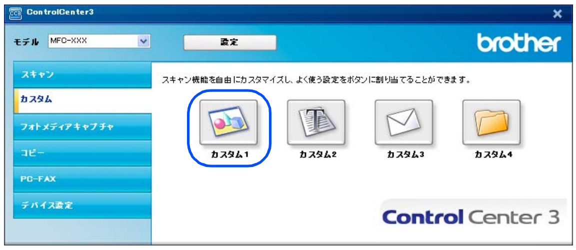


2 「カスタム 1」ボタンを右クリックして[ControlCenter のボタン設定]を選ぶ

- Modern の場合



- Classic の場合

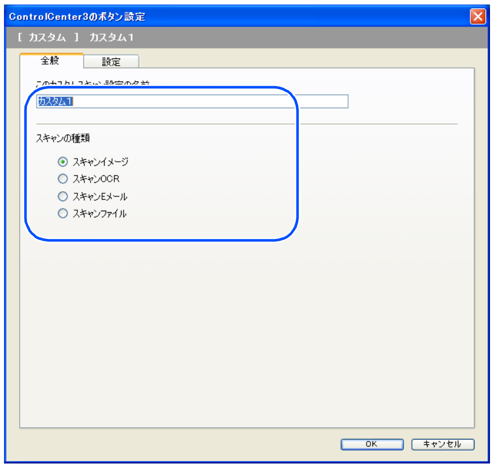


ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「このカスタムスキャン設定の名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。



4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 70 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 70 ページ「スキャンファイルの設定」

5 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

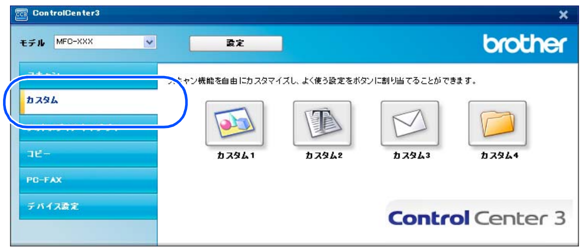
1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「カスタム」を選択する

- Modern の場合
  「スキャン」をクリックし、右側に表示された「カスタム」をクリックします。

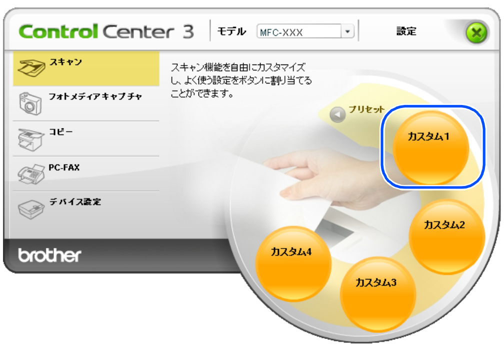


- Classic の場合
  左側の機能一覧から「カスタム」をクリックします。

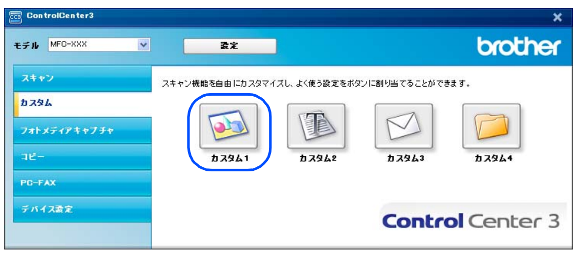


3 実行するスキャンのボタンをクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



設定に従ってスキャンが実行されます。

フォトメディアキャプチャ

本製品にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを確認したり、パソコンへコピーすることができます。

注意

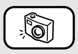
■ ネットワーク接続の場合、フォルダ・ファイル名として使用できるのは、日本語・英数字・記号のみです。これら以外の文字を使用すると、フォルダやファイル名が文字化けしたり、アクセスできないことがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

エクスプローラでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの内容を表示します。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにどのようなデータが保存されているか確認できます。

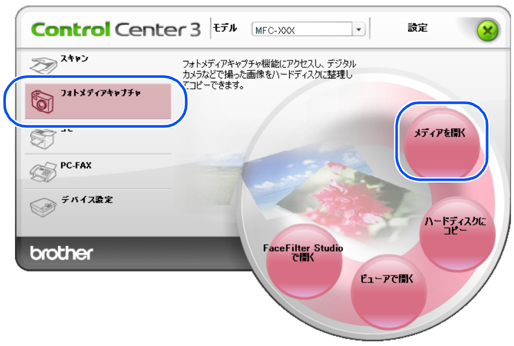
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 59 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）」手順 1

デジカメプリント

が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「メディアを開く」をクリックする

• Modern の場合



• Classic の場合



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータをパソコンにコピーする

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを、パソコンの指定したフォルダにコピーします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

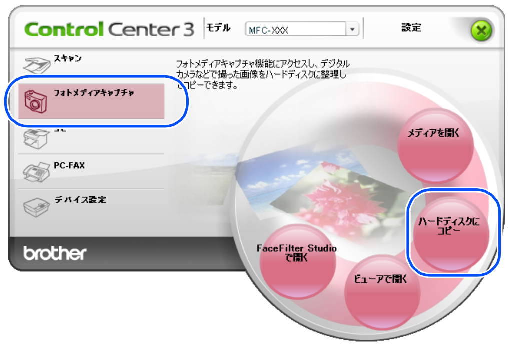
⇒ 59 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）」手順 1

デジカメプリント

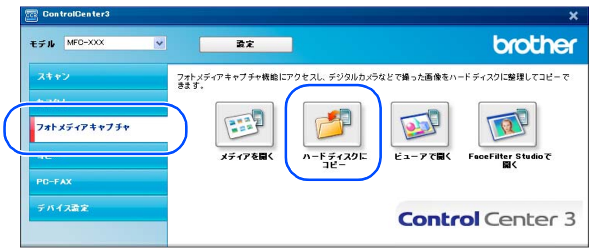
が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「ハードディスクにコピー」をクリックする

• Modern の場合



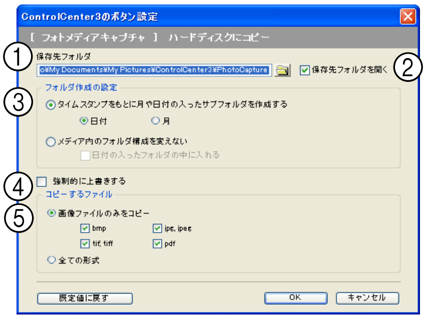
• Classic の場合



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、設定されたフォルダにコピーされます。

「ハードディスクにコピー」の設定を変更する

「ハードディスクにコピー」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① **保存先フォルダ**

コピー先のフォルダを指定します。
初期設定では、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」に設定されています。

② **保存先フォルダを開く**

チェックすると、コピーした後に保存先のフォルダを表示します。

③ **フォルダ作成の設定**

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

④ **強制的に上書きする**

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

⑤ **コピーするファイル**

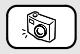
コピーするファイルの種類を選択します。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーのデータをビューアで開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダにコピーし、Presto!®PageManager® で開きます。

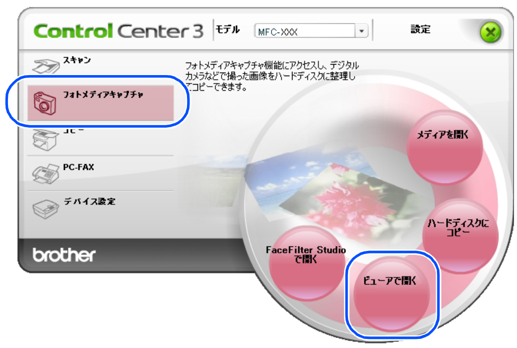
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 59 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）」手順 1

デジカメプリント  が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「ビューアで開く」をクリックする

- Modern の場合



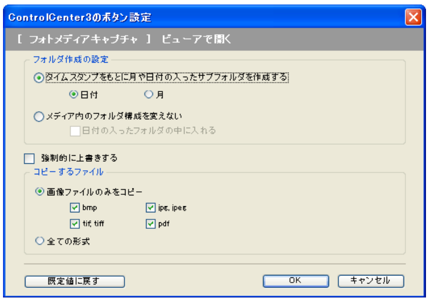
- Classic の場合



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます。
コピーが終わると、Presto!®PageManager® が起動し、データが表示されます。

「ビューアで開く」の設定を変更する

「ビューアで開く」ボタンを右クリックして、[ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① **フォルダ作成の設定**

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

② **強制的に上書きする**

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

③ **コピーするファイル**

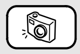
コピーするファイルの種類を選択します。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを FaceFilter Studio で開く

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを指定したフォルダにコピーし、FaceFilter Studio で開きます。

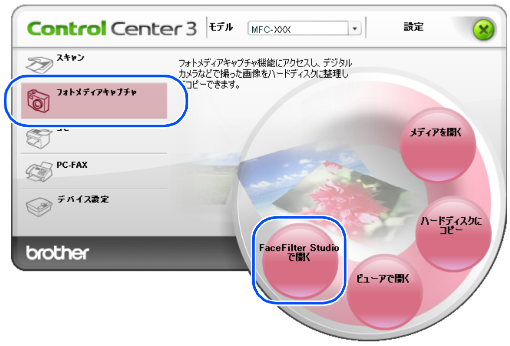
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

⇒ 59 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする（USB 接続のみ）」手順 1

デジカメプリント  が点灯します。

2 ControlCenter3 の「フォトメディアキャプチャ」-「FaceFilter Studio で開く」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

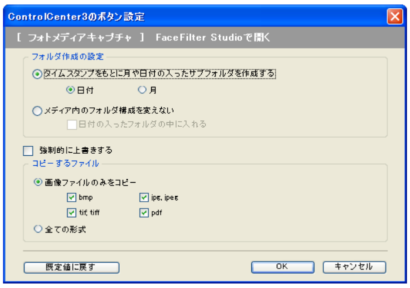


メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているデータが、「マイドキュメント ¥ マイピクチャ ¥ControlCenter3¥PhotoCapture」にコピーされます。

コピーが終わると、FaceFilter Studio が起動し、データが表示されます。

「FaceFilter Studio」の設定を変更する

「FaceFilter Studio で開く」ボタンを右クリックして、［ControlCenter3 のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① フォルダ作成の設定

コピーするときにフォルダを作成するかしないかを選択します。

- ファイルのタイムスタンプをもとに月や日付の入ったサブフォルダを作成する
  保存先フォルダの中に日付または月のフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。
- メディア内のフォルダ構成を変えない
  メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダ構成そのままで、「保存先フォルダ」で指定したフォルダにファイルがコピーされます。「日付の入ったフォルダの中に入れる」をチェックすると、コピー時の日付でフォルダを作成し、その中にファイルをコピーします。

② 強制的に上書きする

チェックすると、同じ名前のファイルがあった場合に、上書きして保存します。

③ コピーするファイル

コピーするファイルの種類を選択します。

コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

1 ControlCenter3 の「コピー」をクリックする

• Modern の場合



• Classic の場合



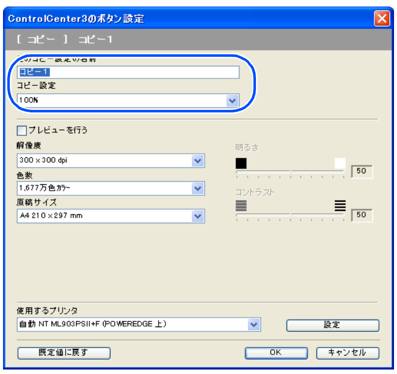
2 ボタンを右クリックして［ControlCenter のボタン設定］を選ぶ

ControlCenter3 のボタン設定ダイアログボックスが表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「このコピー設定の名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。

「コピー設定」で、「100％」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。

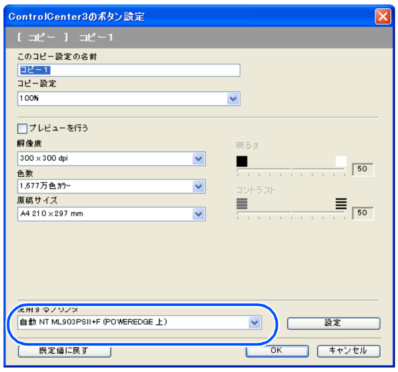


4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

コピーの前にイメージを確認したり、コピーする範囲を指定したいときは、［プレビューを行う］をチェックします。

5 「使用するプリンタ」で本製品を選択する



6 ［OK］をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「コピー」をクリックして、実行するコピーのボタンをクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX

スキャンしたデータを本製品を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、パソコンで内容を確認することもできます。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

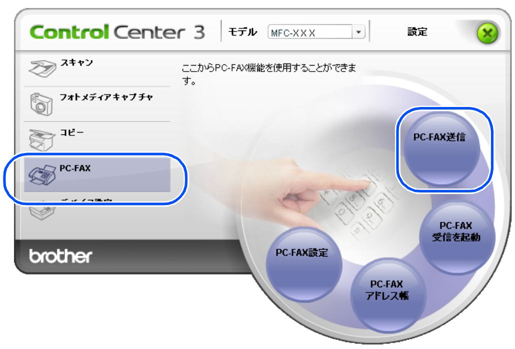
ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

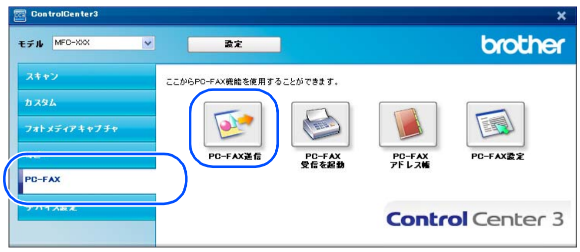
1 原稿をセットする

2 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX 送信」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合

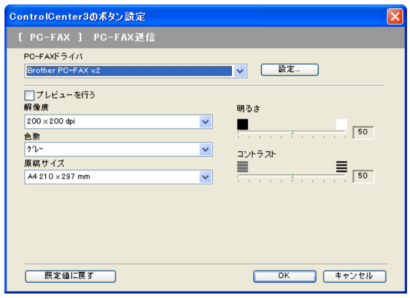


原稿がスキャンされ、PC-FAX 送信画面が表示されます。ファクス番号を入力して、送信を実行してください。

⇒ 45 ページ「パソコンからファクスを送る」

「PC-FAX 送信」の設定を変更する

「PC-FAX 送信」ボタンを右クリックして、［ControlCenter のボタン設定］を選択して表示されるダイアログボックスで、以下の設定ができます。



① PC-FAX ドライバ

送信する PC-FAX ドライバを設定します。通常は、「Brother PC-FAX v.X」が選択されています。

② プレビューを行う

チェックすると、ファクスを送信する前に、内容を確認したり、ファクスとして送信する範囲を指定したりできます。

③ 解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト

必要に応じて設定します。

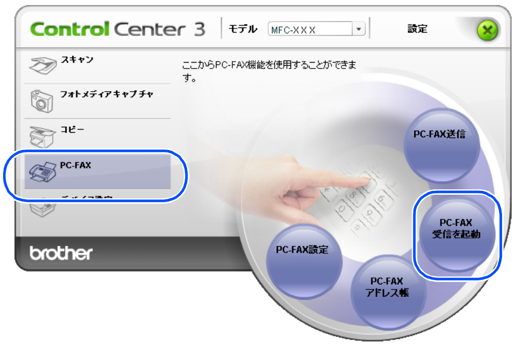
パソコンでファクスを受信する

PC-FAX 受信を起動を受信すると、ボタンが以下のように変更されます。

Modern 画面	Classic 画面
	

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX 受信を起動」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



2 「受信した PC-FAX を見る」をクリックする

「Presto!® PageManager®」が起動し、受信したファクスデータが保存されているフォルダを表示します。

3 Presto!® PageManager 上でファイル名をダブルクリックして内容を確認する

PC-FAX 受信を終了すると、ボタンが元に戻ります。

注意

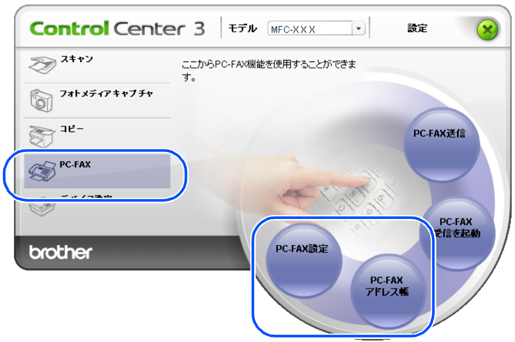
■ ファクスをパソコンで受信するには、本製品での設定も必要です。⇒ 54 ページ「本製品を PC-FAX 受信モードにする」

PC-FAX の設定を行う

ControlCenter3 から PC-FAX に関する設定が行えます。

1 ControlCenter3 の「PC-FAX」-「PC-FAX アドレス帳」または「PC-FAX 設定」をクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



- 「PC-FAX アドレス帳」をクリックした場合
  PC-FAX アドレス帳が起動します。アドレス帳に相手先を登録したり、登録内容を変更できます。
  ⇒ 47 ページ「PC-FAX アドレス帳を利用する」
- 「PC-FAX 設定」をクリックした場合
  PC-FAX を送信するときの設定画面が表示されます。
  ⇒ 43 ページ「PC-FAX を使う前に」

デバイス設定

インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

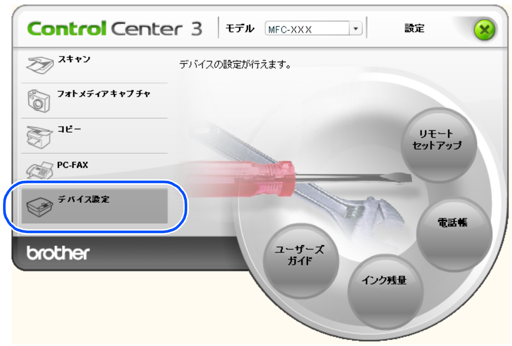
注意

■ DCP モデルをお使いの場合は、「インク残量」と「ユーザーズガイド」ボタンのみ表示されます。

本製品の設定を確認・変更する

1 ControlCenter3 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」「ユーザーズガイド」のいずれかをクリックする

- Modern の場合



- Classic の場合



- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。パソコン上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 63 ページ「本製品の設定をパソコンから変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。パソコン上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 65 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。
  ⇒ 11 ページ「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
- 「ユーザーズガイド」をクリックした場合
  「画面で見るマニュアル」が表示されます。

Macintosh®

第 1 章 プリンタ

プリンタとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をプリンタとして使うには、付属の CD-ROM の中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。
Macintosh® との接続や、ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

こんなことができます

本製品は、高品質のインクジェットプリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でも Macintosh® からのデータを印刷できます。
ネットワーク環境ではネットワークプリンタとして使用できます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷 「高速」モードを使うことで 1 分間に最高 22 ～ 25 枚のフルカラー印刷 /27 ～ 30 枚のモノクロ印刷ができます。印刷時間は印刷する内容によって違います。 ※モデルによって数値は異なります。	● 1200 × 6000dpi 出力 特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度 1200 × 6000dpi で印刷します。	● 経済的な印刷コスト なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。
● 多彩な記録紙対応 本製品は普通紙、インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルム、はがき、および封筒に対応します。 （ラベル紙には対応していません。）	● USB(Universal Serial Bus) に対応 本製品の USB ポートはコンピュータとの通信に対応します。	● 画質強調 本製品は印刷する画像に対して、より鮮やかに、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

本製品では、双方向印字と片方向印字が選べます。片方向印字のほうが高画質ですが、印刷スピードは遅くなります。

記録紙について

本製品をプリンタとして使う場合の記録紙については、ユーザーズガイドをご覧ください。
⇒ユーザーズガイド「記録紙のセット」

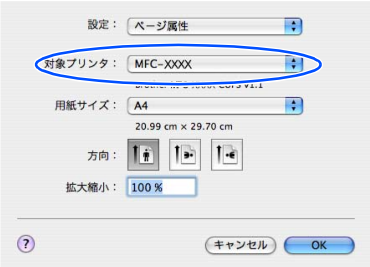
印刷する

本製品をプリンタとして使うときは、あらかじめプリンタ設定ユーティリティ（またはプリントセンター）で「デフォルトにする」と設定し、印刷します。

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定画面が表示されます。

2 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選ぶ

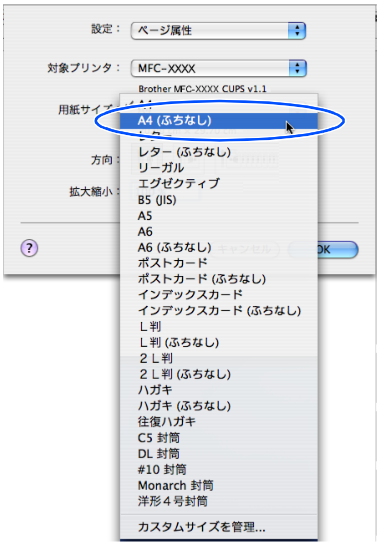


3 各項目を設定し、［OK］をクリックする

以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向
- 拡大縮小

ふちなし印刷を行う場合は、用紙サイズの中から（ふちなし）を選びます。



設定した内容が有効になります。

4 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

印刷設定画面が表示されます。

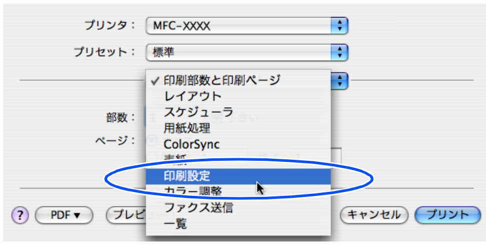
5 「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていることを確認する

その他、以下の項目も設定できます。

- 部数
- ページ



6 ポップアップメニューから［印刷設定］を選ぶ



印刷設定画面が表示されます。

7 各項目を設定する

以下の項目が設定できます。

①用紙種類

記録紙の種類を選びます。記録紙トレイにセットした記録紙の種類を選ぶことで、印刷品質が向上します。

用紙の種類
普通紙
インクジェット紙
ブラザー写真光沢紙
その他光沢紙
OHP フィルム
写真用はがき 宛名面
写真用はがき 裏面（通信面）

②乾きにくい紙

一部のインクジェットはがきの宛名側など、インクが乾きにくい記録紙を使用する場合にチェックします。

③印刷品質

印刷する文書に必要な（最適な）印刷解像度を選びます。選べる解像度は、①で選んだ記録紙の種類によって異なります。

設定	解像度 (dpi)	内容	印刷速度
高速	600 × 150	大量の文書や、校正用の文書を印刷するとき ※最も印刷速度が速く（「標準」の 2 ～ 3 倍の速度）、インクの消費量も少なくなります。	速い
標準（はやい）	600 × 300	通常の印刷のとき（品質と印刷時間のバランスがとれています。）	
標準	600 × 600	「標準（はやい）」より、さらに高画質で印刷するとき	
きれい	1200 × 1200	精密な文章や画像を印刷するとき	
写真	1200 × 2400	精密な画像を印刷するとき	
写真（最高画質）	1200 × 6000	さらに精密な画像を印刷するとき	遅い

> 印刷速度は印刷品質（解像度）と関係があり、品質が良いほど印刷速度は遅くなります。
>
> 「高速」を選ぶと、「標準（はやい）」に比べて、インクの消費量を約 40％おさえることができます。

※ 用紙種類と印刷品質の関連について
記録紙の種類を指定したとき、選べる印刷品質は以下のとおりです。用紙の種類を変更すると、太字の項目が選ばれるよう設定されています。

用紙の種類	印刷品質
普通紙	高速 / 標準（はやい）/ **標準** / きれい
インクジェット紙	きれい / **写真**
ブラザー写真光沢紙 / その他光沢紙 / 写真用はがき 裏面（通信面）	きれい / **写真** / 写真（最高画質）
OHP フィルム	**標準** / きれい
写真用はがき 宛名面	高速 / 標準（はやい）/ 標準 / **きれい**

④カラー／モノクロ

⑤用紙の厚さ

⑥双方向印刷

⑦左右反転

⑧上下反転



> ［サポート］をクリックすると、以下の画面が表示されます。



8 ［プリント］をクリックする

ファイルが印刷されます。
次回の印刷から設定した内容で印刷されます。

ファクスを送信中に印刷する

ファクスを送信しているときや原稿をスキャンしている間も、印刷をすることができます。

メモリーに残っているデータを消す

何らかの理由で印刷を中断したとき、本製品のメモリーに印刷のデータが残っていることがあります。液晶ディスプレイに「データが残っています」または「データガノコッテイマス」と表示されている場合、残っているデータを消します。

1 停止/終了  **を押す**

メモリーに残っているデータが削除されます。

印刷品質をチェックする

きれいに印刷されないときは、印刷品質をチェックしてください。

⇒ユーザーズガイド「印刷品質をチェックする」

ジョブをキャンセルする

処理中のジョブをキャンセルして、メモリーからデータを消します。

1 停止/終了  **を押す**

印刷がキャンセルされます。

Macintosh®

第 2 章 スキャナ

スキャナとして使う前に

ドライバをインストールする必要があります

本製品をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。また、スキャナを便利に使いこなすために Presto!® PageManager® の使用をお勧めします。Presto!® PageManager® を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属のヘルプを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。
  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00 （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：nj.nsc@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。
- 本製品をネットワーク接続でご利用の場合、本製品のスキャンボタンからスキャンするには、スキャンしたデータを受信する Macintosh® でスキャンボタンの登録が必要です。スキャンボタンの登録が完了すると、本製品のスキャンボタンを押したときに選択項目として登録した Macintosh® の名前が表示されます。
  ⇒ 97 ページ「ネットワークスキャンを使用する前に」

スキャン方法を選ぶ

本製品を使ってスキャンするとき、目的に応じてスキャンの方法や使用するアプリケーションを使い分けてください。

●簡単な操作で決まった条件のスキャンをする
●ネットワーク上に接続されているMacintoshに直接スキャンしたデータを保存する

↓

- スキャン を使用してスキャンする（90ページ）
- 原稿をセットする
- 操作パネルの スキャン を押す
- 機能を選ぶ
  - ・Eメール：Eメール添付
  - ・イメージ：PC画像表示
  - ・OCR：テキストデータ変換
  - ・ファイル：フォルダ保存
- スキャンを実行する
  操作パネルの カラー または モノクロ を押す

いろいろな機能をひとつのアプリケーションから操作する

↓

- 付属ソフトウェア ControlCenter2を使用する（112ページ）
- 原稿をセットする
- ControlCenterを起動する
- 機能を選ぶ
- スキャンを実行する

スキャンしたデータをアプリケーションで加工する

↓

- アプリケーションからスキャンする　（94ページ）
- 原稿をセットする
- アプリケーションを起動する
- 使用するスキャナとして本機を選ぶ
- スキャンを実行する

ボタンの形はモデルによって異なります。

本製品のスキャンボタンからスキャンする

操作パネルのスキャンボタン（スキャン）を使ってスキャンする方法を説明します。

本製品をネットワークに接続してお使いの場合は、まずスキャンボタンの登録を行ってください。
⇒ 97 ページ「ネットワークスキャンを使用する前に」

原稿をスキャンする

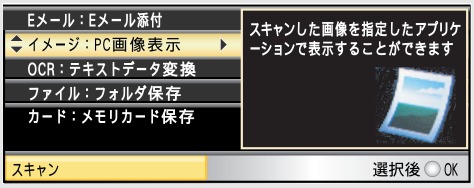
原稿をスキャンして、ファイルとして Macintosh® に保存します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

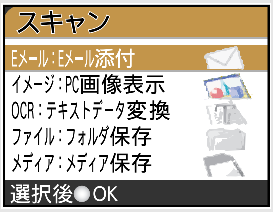
2 スキャン を押す

以下の画面が表示されます。

- カラーワイド液晶モデルの場合



- カラー液晶モデルの場合



- 液晶 1 行モデルの場合

スキャン　E メール▲▼

↕

▲▼デセンタク &OK ボタン

3 ▲▼で、【イメージ：PC 画像表示】を選び、OK を押す

DCP-155C、DCP-350C、MFC-650CD/CDW の場合、5 へ

液晶 1 行モデルの場合は、「スキャン　イメージ」を選びます。

4 （ネットワーク接続の場合）

▲▼で保存先の Macintosh® を選び、OK を押す

USB 接続している Macintosh® を選ぶ場合は、＜ USB ＞を選びます。

> 本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。
>
> Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh® を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲▼で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。

5 モノクロ または カラー を押す

Macintosh® の設定がカラーの場合はカラーで、モノクロの場合はモノクロでスキャンされます。カラー／モノクロの設定は、Control Center で変更できます。
⇒ 112 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿がスキャンされます。
ControlCenter で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。

スキャンするときの設定を変更する

スキャン を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter から変更できます。
⇒ 112 ページ「スキャンの設定を変更する」

原稿の文字を修正できるようにスキャンする

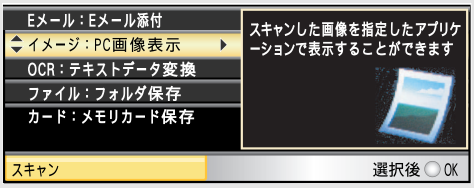
文字の入った原稿をスキャンして、Macintosh® で編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

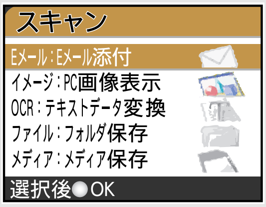
2 スキャン を押す

以下の画面が表示されます。

- カラーワイド液晶モデルの場合



- カラー液晶モデルの場合



- 液晶 1 行モデルの場合

スキャン　E メール▲▼
↕
▲▼デセンタク &OK ボタン

3 ▲▼ で、【OCR：テキストデータ変換】を選び、OK を押す

DCP-155C、DCP-350C、MFC-650CD/CDW の場合、5 へ

液晶 1 行モデルの場合は、「スキャン OCR」を選びます。

4 （ネットワーク接続の場合）

▲▼ で保存先の Macintosh® を選び、

OK を押す

USB 接続している Macintosh® を選ぶ場合は、< USB >を選びます。

> 本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。
>
> Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh® を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。

5 モノクロ または カラー を押す

原稿がスキャンされます。

ControlCenter の設定に従って文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。

スキャンした画像を指定したフォルダに保存する

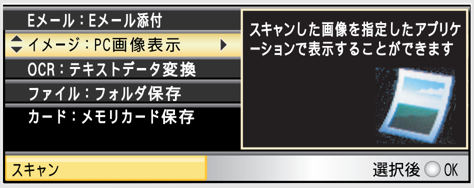
原稿をスキャンして Macintosh® の指定したフォルダに保存します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

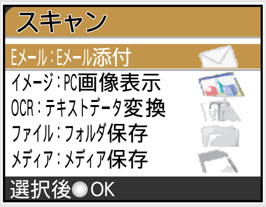
2 **スキャン を押す**

以下の画面が表示されます。

- カラーワイド液晶モデルの場合



- カラー液晶モデルの場合



- 液晶 1 行モデルの場合

スキャン　Ｅメール▲▼

▲▼デセンタク &OK ボタン

3 **▲▼ で、【ファイル：フォルダ保存】を選び、OK を押す**

DCP-155C、DCP-350C、MFC-650CD/CDW の場合、**5** へ

液晶 1 行モデルの場合は、「スキャン ファイル」を選びます。

4 **（ネットワーク接続の場合）**

▲▼ で保存先の Macintosh® を選び、OK を押す

USB 接続している Macintosh® を選ぶ場合は、＜ USB ＞を選びます。

本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。

Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh® を選んだ後に、パスワードを入力します。

(1) ▲▼ で入力したい数字を選ぶ

(2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ

(3) すべて入力したら、OK を押す

※ 修正するには クリア/バック を押してください。

5 **モノクロ または カラー を押す**

原稿がスキャンされます。

ControlCenter で設定されている保存先に、指定したファイル形式でデータが保存されます。

スキャンした画像を E メールで送る

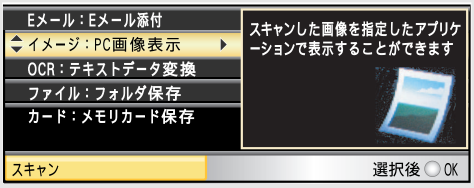
スキャンした画像を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

1 **ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする**

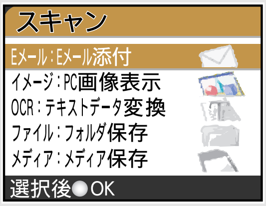
2 **スキャン を押す**

以下の画面が表示されます。

- カラーワイド液晶モデルの場合



- カラー液晶モデルの場合



- 液晶 1 行モデルの場合

スキャン　E メール▲▼
↕
▲▼デセンタク &OK ボタン

3 **▲▼ で、【E メール：E メール添付】を選び、OK を押す**

DCP-155C、DCP-350C、MFC-650CD/CDW の場合、**5** へ

液晶 1 行モデルの場合は、「スキャン E メール」を選びます。

4 **（ネットワーク接続の場合）**

▲▼ で保存先の Macintosh® を選び、OK を押す

USB 接続している Macintosh® を選ぶ場合は、< USB >を選びます。

> 本製品がネットワークに接続されていない場合、この操作は必要ありません。
>
> Macintosh® にパスワードが設定されている場合は、保存先の Macintosh® を選んだ後に、パスワードを入力します。
>
> (1) ▲▼ で入力したい数字を選ぶ
>
> (2) ▶ を押し、次の数字を選ぶ
>
> (3) すべて入力したら、OK を押す
>
> ※ 修正するには クリア/バック を押してください。

5 **モノクロ または カラー を押す**

原稿がスキャンされます。
スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。

アプリケーションから直接スキャンする

本製品のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。

注意

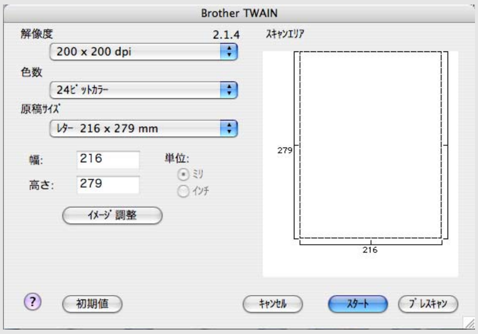
■ あらかじめ、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto!® PageManager® や Adobe® Photoshop® など）を起動させ、［ファイル］メニューの［対応機器の選択 ...］-［TWAIN］で、「Brother TWAIN」を選んでおきます。

1 Presto!®PageManeger® を起動する

2 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットする

3 ［ファイル］メニューから［原稿をスキャンし、イメージデータを取り込む］を選ぶ

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。



4 ［プレスキャン］をクリックする

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）をお使いの場合、プレスキャンのため原稿が一度排出されます。スキャンするときは、原稿をセットし直してから［スタート］をクリックします。

低解像度で原稿がスキャンされ、プレビュー画像が表示されます。



5 点線をドラッグして、スキャンする範囲を調節する

マウスの左ボタンで点線の側面または端をドラッグします。

6 解像度や明るさなどの項目を設定する

⇒ 95 ページ「TWAIN ダイアログボックスの設定について」

7 ［スタート］をクリックする

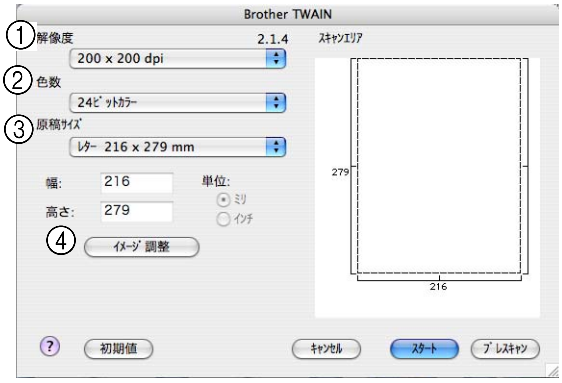
原稿がスキャンされ、起動している「Presto!® PageManager®」に画像が表示されます。

8 画像を保存する

操作の詳細については、「Presto!® PageManager®」のヘルプを参照してください。

TWAIN ダイアログボックスの設定について

スキャナウィンドウでは、以下の項目が設定できます。



① **解像度**

スキャンする解像度を選びます。解像度を高くするとデータの容量が大きくなりますが、より細かくスキャンされるので画像の質は向上します。選べる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

モデルによって表示される解像度は異なります。

解像度	白黒	8 ビットカラー	24 ビットカラー
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○
19200 × 19200dpi	○	×	○

- 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、8 ビットカラーを使用した場合の約 3 倍になります。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、必要なハードディスクの容量もスキャンにかかる時間も増大します。適切な解像度を選んでください。
- 高い解像度でのスキャンは一般的に 600dpi 程度で十分ですが、上限は 2400dpi にすることをお勧めします。
- 4800dpi よりも高い解像度でスキャンするときは、スキャンする範囲を指定してください。

② **色数**

取り込む色数を設定します。

モード	設定内容
白黒	文字原稿や線画原稿のスキャンに適しています。
グレイ [誤差拡散方式]	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。このモードでは、黒い点を原稿の濃淡に応じ一定の規則で配置することで、原稿の濃淡を擬似的に表現する方式でスキャンします。
256 階調グレイ	写真やグラフィックが含まれる原稿のスキャンに適しています。
8 ビットカラー	256 色のカラーで取り込みます。カラーイラストが含まれる原稿のスキャンに適しています。
24 ビットカラー	1677 万色のカラーで取り込みます。カラー原稿のスキャンに適しています。このモードでは、ブラザーカラーマッチング技術を利用するため、最良のスキャン結果を得ることができます。

- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

③ **原稿サイズ**

以下のいずれかのサイズを設定します。

設定	サイズ
レター	216 × 279mm
リーガル（＊ 1）	216 × 356mm
A4	210 × 297mm
B5（JIS）	182 × 257mm
A5	148 × 210mm
エグゼクティブ	184 × 267mm
名刺	90 × 60mm
ポストカード	102 × 152mm
インデックスカード	128 × 203mm
L 判	89 × 127mm
2L 判	127 × 178mm
ハガキ	100 × 148mm
往復ハガキ	148 × 200mm

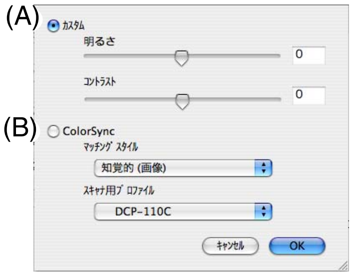
設定	サイズ
カスタム（＊ 2）	8.9 × 8.9mm から 215 × 297mm まで調整可 （ADF 搭載モデルでは 215 × 355mm まで調整できます。）

＊ 1　ADF 搭載モデルのみ対応しています。
＊ 2　「カスタム」を選んだ場合は、「幅」と「高さ」を入力します。

カスタムサイズを選んだあとでも、スキャンの範囲をさらに調整できます。マウスの左ボタンで、スキャン範囲の点線をドラッグします。

名刺をスキャンするときは、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選び、原稿台ガラスに名刺をセットしてください。

④ イメージ調整



(A)　カスタム

明るさ、コントラストを調整します。

(B)　ColorSync

- マッチングスタイル
  ColorSync™ を使って色補正を行う場合の基準を設定します。

設定	内容
知覚的（画像）	写真のようなイメージのとき選びます。
彩度 （グラフィックス）	はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき選びます。
相対的な色域を維持	色と色の関係（対比）が重要なとき選びます。
絶対的な色域を維持	シンボルカラーのような色そのものが持つイメージが重要なとき選びます。

- スキャナ用プロファイル
  本製品を選びます。

ネットワークスキャン機能を使う

本製品でスキャンしたデータを、ネットワーク上の Macintosh® へ送ったり保存できる機能です。

注意

- ネットワークに対応していないモデルをお使いの場合は、ネットワークスキャン機能は使用できません。
- あらかじめ本製品の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
  ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」-「TCP/IP の設定」
  すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

ネットワークスキャンを使用する前に

本製品のスキャンボタンを押してネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存する Macintosh® をあらかじめ選ぶ必要があります。
IP アドレスを変更したり、保存先の Macintosh® を変える場合にも、以下の手順で設定を行います。

1　[Macintosh HD] - [ライブラリ] - [Printers] - [Brother] - [Utilities] - [DeviceSelector] の [デバイスセレクタ] をダブルクリックする

「デバイスセレクタ」画面が開きます。

デバイスセレクタは ControlCenter からも起動できます。

2　[ネットワーク] を選ぶ



3　[パソコンをブラザー製品のスキャンキーへ登録] をチェックして、[表示名] に Macintosh® の名前を入力する



4　必要に応じて、項目を設定する

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- mDNS サービス名を変更する場合は、[検索] をクリックして、表示された機器の一覧から選びます。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、[検索] をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

5　[OK] をクリックする

スキャンボタンからスキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データを Macintosh® に保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。[パスワードによりパソコンへのアクセス制限を有効にする] をチェックして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。



Macintosh®

第 3 章 PC-FAX

Macintosh® からファクスを送る

Macintosh® 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信します。

注意

- Macintosh® では、PC-FAX の受信機能は使用できません。
- DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。（カラーのデータを送信しても、相手側のファクシミリがカラーに対応している場合でもモノクロで送信されます。）

1 Macintosh® 上のアプリケーションで送信したいファイルを作成する

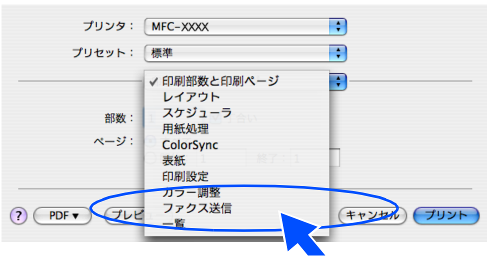
2 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

「プリンタ」に本製品のモデル名が表示されていること を確認します。

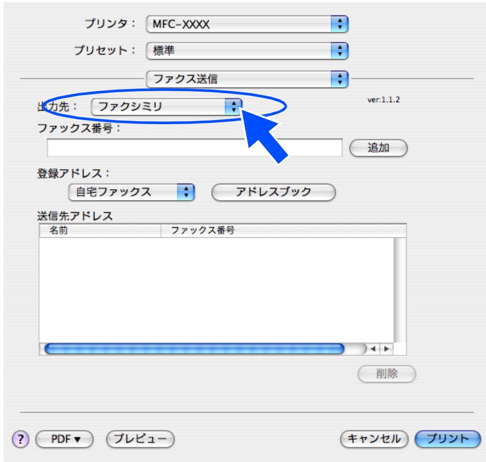
印刷設定画面が表示されます。



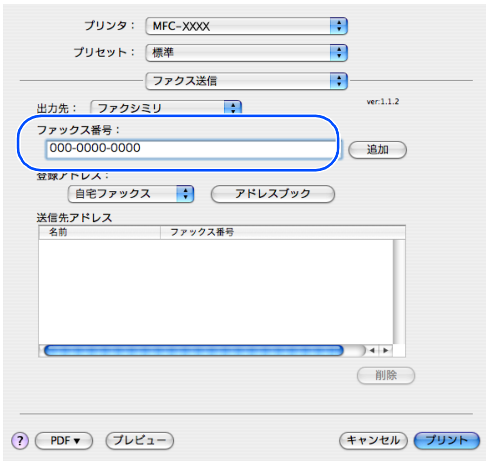
3 ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ



4 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ



5 「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックする



複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

6 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

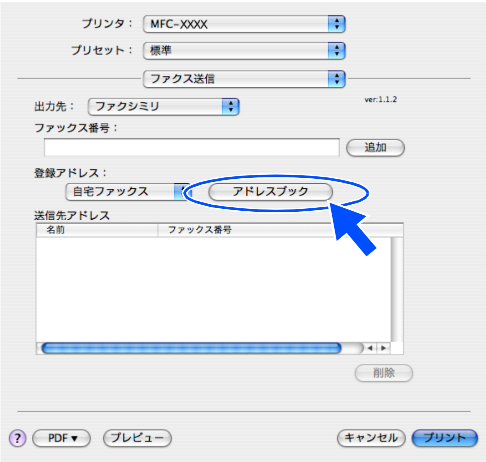
アドレスブックを利用する

Macintosh® の アドレスブックを使用して、ファクスの送信先を簡単に設定できます。

アドレスブックから送信先を設定する

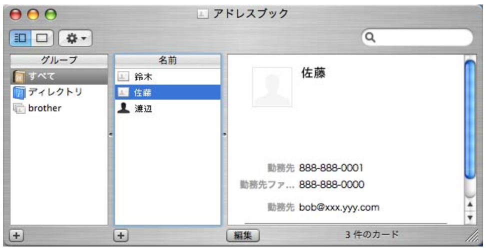
アドレスブックから Vcard (vcf 形式) をドラッグして送信先を設定できます。

1 ［アドレスブック］をクリックする

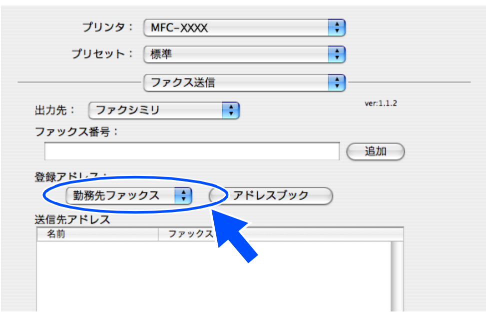


アドレスブックが表示されます。

2 送信先のファクス番号が登録されている Vcard（vcf 形式）を選ぶ



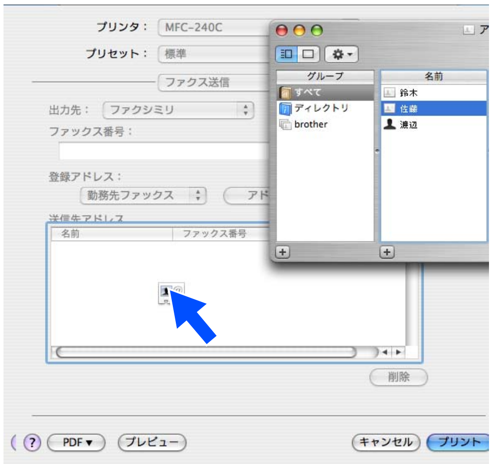
3 「登録アドレス」のポップアップメニューから、送信先の項目を選ぶ



注意

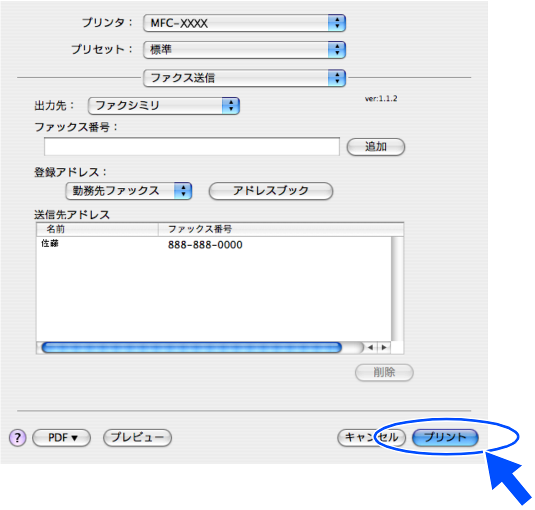
- 送信先アドレスは、［登録アドレス］を選ぶことで自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が決定されます。
  自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録された Vcard (vcf 形式) を使用してください。
- Vcard (vcf 形式) 内に登録されているファクス番号がひとつの場合は、［登録アドレス］の選択に関係なく送信先として設定されます。

4 送信したいファクス番号のVcard (vcf形式) をドラッグして、「送信先アドレス」まで移動させる



複数の相手にファクスを送信するときは、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

❺ [プリント] をクリックする



ファクスが送信されます。

Macintosh®

第 4 章 フォトメディアキャプチャ

Macintosh® からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする (USB 接続のみ)

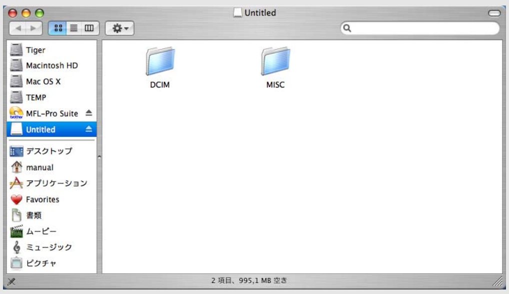
USB フラッシュメモリー差し込み口にセットした USB フラッシュメモリーや、カードスロットにセットしたメモリーカードなどのメディアを、Macintosh® 上で「リムーバブルディスク」として使います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 デスクトップに表示されたリムーバブルディスクのアイコン（※）をダブルクリックする

※ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにボリューム名が設定されている場合は、その名称が表示されます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイルやフォルダが表示されます。



3 ファイルを編集する

ファイルを表示したり、Macintosh® へコピーしたりできます。

また、Macintosh® からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品に挿入したメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、ネットワークを経由してアクセスし、ファイルを表示したりコピーしたりできます。

注意

- この機能は、ネットワーク対応モデルでのみ使用できます。
- ネットワーク経由で他の Macintosh® がメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしているときは、同時にアクセスできません。
- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存された写真を液晶ディスプレイに表示しているとき、および保存されたデータを印刷しているときは、アクセスできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットする

2 Safari などの Web ブラウザを起動する

3 Web ブラウザのアドレス欄に本製品の IP アドレスを入力する

例）192.168.0.10 の場合は、「ftp://192.168.0.10」と入力します。

4 ファイルを表示したり、別のドライブにコピーする

ファイルを別のドライブに保存するときは、[Ctrl] キーを押しながらファイルをクリックし、表示されるメニューから「画像をディスクにダウンロード」を選びます。

また、Macintosh® からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへファイルをコピーするなど、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーへの書き込みもできます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを損傷しないよう、以下の手順で取り出します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを参照しているソフトウェアをすべて終了する

2 [リムーバブルディスク] アイコンをゴミ箱にドラッグする

> 本製品の デジカメプリント が点滅することがあります。
> (点滅しなくても異常ではありません。)

3 本製品の デジカメプリント が点滅していないことを確認し、そのまま引き抜く

注意

- 本製品がメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを読み込んでいるとき(デジカメプリント 点滅中)は、電源コードや USB ケーブルを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出したりしないでください。データが読めなくなったり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーが損傷を受けることがあります。
- 誤って デジカメプリント が点滅中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh® をすぐに再起動した後、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入してください。Macintosh® を再起動する前に他のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを挿入すると、データが破壊されることがあります。
- Macintosh® のデスクトップにメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、本製品の「フォトメディアキャプチャ」機能は使用できません。デスクトップに表示されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーのアイコンをゴミ箱に移動した後、ご使用ください。
- 誤ってアクセスランプが点灯中にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出した場合は、Macintosh® の「システム終了」を実行できなくなることがあります。その場合は、本製品と接続している USB ケーブルを抜いてから Macintosh® の「システム終了」を実行してください。

Macintosh®

第 5 章 リモートセットアップ

リモートセットアップを利用する

リモートセットアップとは

本製品の設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使うと、Macintosh® から簡単に操作ができます。
リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

注意

- DCP モデルをお使いの場合は、この機能は使用できません。
- リモートセットアップ画面を開いているときは、本製品で他の操作をすることができません。
- 本製品の操作パネルから機能の設定や登録をしているときは、リモートセットアップ機能は使用できません。
- PC-FAX ご利用中はリモートセットアップの操作はできません。PC-FAX を終了させてから操作してください。

本章では、MFC-650CD の画面を使用して説明しています。

本製品の設定を Macintosh® から変更する

リモートセットアップを使って本製品の設定を変えるときは、以下の手順で操作します。

1 「リモートセットアップ」を起動する

［Macintosh HD］－［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］から［RemoteSetup］アイコンをダブルクリックします。

現在本製品に設定されている内容が Macintosh® にダウンロードされ、リモートセットアップの画面が表示されます。



注意

- 本製品に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。

2 左側（A）から設定したい項目を選び、右側（B）の項目を設定する

表示される画面は、モデルによって異なります。



3 設定し終わったら、[OK] をクリックする



設定内容が本製品に送信され、「リモートセットアップ」を終了します。

リモートセットアップは、ControlCenter2 からも実行できます。

ネットワーク接続の場合、接続に失敗したときは、[Macintosh HD] - [ライブラリ] - [Printers] - [Brother] - [Utilities] - [DeviceSelector] - [デバイスセレクタ] から、ネットワークの再設定をしてください。

その他の操作について

リモートセットアップの設定では、設定内容をファイルとして保存したり、印刷したりすることができます。



① エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

保存したい各機能の項目（例：受信設定）を選び、[エクスポート] をクリックします。

② インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③ 印刷

「電話帳登録（デンワチョウトウロク）」画面を表示しているときは、「電話帳リスト」を印刷します。その他の設定を表示しているときは、「設定内容リスト」を印刷します。ただし、本製品に送信する前は印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本製品に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。

送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックしてください。

⑤ キャンセル

設定した内容を本製品に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥ 適用

設定した内容を本製品に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

本製品の電話帳を作成・変更する

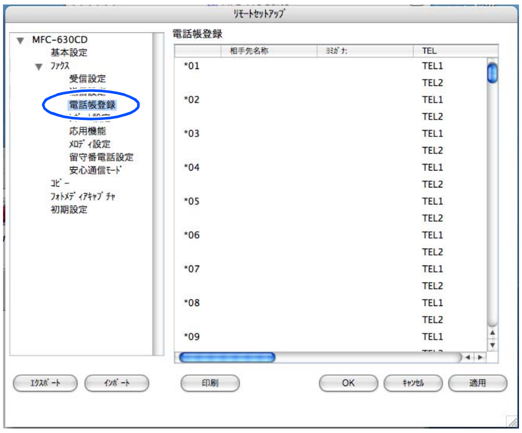
リモートセットアップを使って電話帳の登録、編集ができます。

本製品の漢字は、JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

電話帳に短縮ダイヤルを登録する

相手先の電話番号（ファクス番号）と名称を、2 桁の短縮番号（最大 60 件）に登録します。

1 左側から「電話帳登録」を選ぶ



電話帳登録の画面が表示されます。

2 登録する短縮番号の行にある「相手先名称」に相手先の名前を入力する

3 「ヨミガナ」に相手先名称の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

4 「種別」で「F/T」を選ぶ

5 「FAX/TEL 番号」に電話またはファクス番号を入力する

電話・ファクス番号は、1 つの短縮番号に 2 つまで登録できます。

6 グループダイヤルに登録する場合は、登録先のグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 3 に登録する場合は、「G3」をチェックします。

7 [OK] をクリックする

設定した内容が本製品に送信され、リモートセットアップが終了します。

電話帳にグループダイヤルを登録する

複数の送信先をグループとして指定しておくと、一度の操作でグループに登録された相手先にファクスを送ることができます。グループは 6 つまで登録できます。

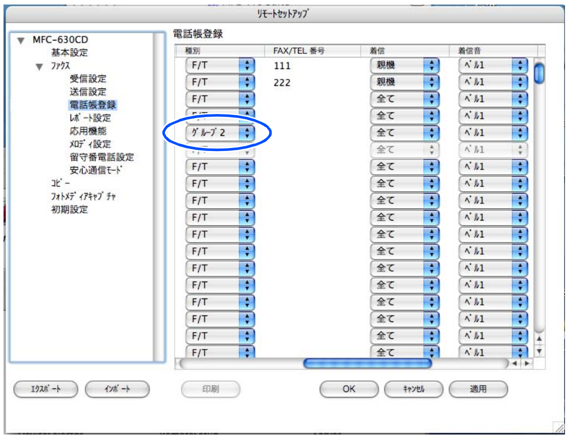
1 左側から「電話帳登録」を選ぶ

電話帳登録の画面が表示されます。

2 種別でグループを選ぶ

グループ番号は「1 ～ 6」から選びます。

例）ここでは「グループ 2」を選びます。



3 「相手先名称」にグループ名を入力する

4 「ヨミガナ」にグループ名の読みがなを入力する

読みがなは半角カタカナで入力してください。

5 グループに登録するメンバーのグループ番号のチェックボックスを ON にする

例）グループ 2 に登録する場合は、「G2」をチェックします。

6 [適用] をクリックする

グループダイヤルが登録されます。

Macintosh®

第 6 章 便利な使い方（ControlCenter2）

ControlCenter2 とは

本製品を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本製品が持つスキャナ、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2 の画面

ControlCenter2 では、本製品で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。



(1) スキャン	使用目的に応じて、原稿をスキャンします。クリックするだけで、画像データとして保存したり、E メールにデータを添付することができます。
(2) カスタム	良く使用する設定やソフトウェアを登録できます。よく使う設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたスキャンを実行できます。
(3) コピー /PC-FAX	原稿をコピーします。コピーするときの設定を 4 つまで登録して、クリックするだけで設定に応じたコピーを実行できます。 スキャンしたデータを本製品を使用してファクスとして送信します。受信したファクスを確認することもできます。 ※ DCP モデルをお使いの場合は、PC-FAX 機能は使用できません。
(4) デバイス設定	インク残量の確認や、本製品の電話帳の登録などができます。

ControlCenter2 を起動する

1　［MacintoshHD］-［ライブラリ］-［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［ControlCenter］から［ControlCenter］アイコンをダブルクリックする

メニューバーに が表示されます。

2　メニューバーの をクリックして、［開く］を選ぶ

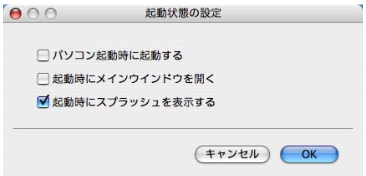
Control Center2 のウィンドウが表示されます。

起動時の動作を設定する

Macintosh® を起動したとき、ControlCenter2 も同時に起動させることができます。

(1)　**メニューバーの をクリックして、［起動状態の設定］を選ぶ**

◆「起動状態の設定」画面が表示されます。



(2)　**起動時の動作を選ぶ**

- パソコン起動時に起動する
  Macintosh® 起動時に ControlCenter2 が自動的に起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く
  Macintosh® 起動時に ControlCenter2 が自動的に起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

(3)　**［OK］をクリックする**

スキャン

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本製品のスキャンボタンの動作も設定できます。

スキャンを実行する

ControlCenter2 からスキャンを実行します。

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「スキャン」をクリックする



3 「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

原稿がスキャンされます。

- 「イメージ」を選択した場合
  設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。
- 「OCR」を選択した場合
  文字データへの変換が実行され、テキストデータが表示されます。
- 「E メール」を選択した場合
  設定されているメールソフトが起動します。スキャンしたデータは、添付ファイルとして設定されています。
- 「ファイル」を選択した場合
  設定されている保存先に指定したファイル形式でデータが保存されます。

スキャンの設定を変更する

ボタンをクリックしたときに起動するアプリケーションや、ファイル形式などの設定を変更します。
本製品のスキャンボタンからスキャンした場合の設定も、ここで変更できます。

1 [Ctrl] キーを押しながら「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」のいずれかをクリックする

スキャンの設定画面が表示されます。

2 「ControlCenter の設定」タブをクリックして、設定を変更する

設定できる内容は、ボタンによって異なります。
⇒ 113 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 113 ページ「スキャンファイルの設定」

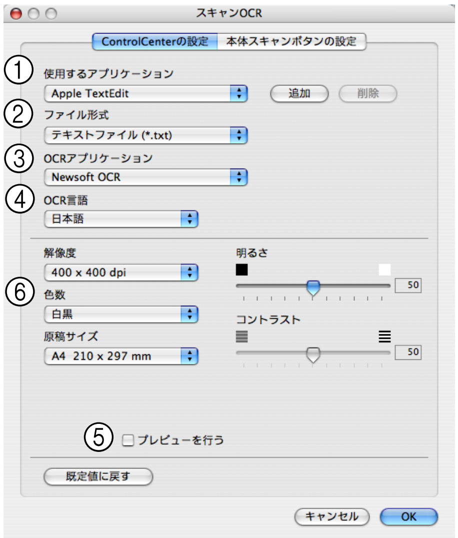
> 本製品のスキャンボタンからスキャンするときの設定を変更する場合は、「本体スキャンボタンの設定」タブをクリックして、設定を変更します。

3 [OK] をクリックする

設定が変更されます。

スキャンイメージ /OCR/E メールの設定





① **使用するアプリケーション**

スキャンした原稿を開くアプリケーションを選択します。［追加］をクリックして、新しいアプリケーションを追加することもできます。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

③ **OCR アプリケーション（「OCR」のみ）**

文字データ（テキストデータ）に変換するためのアプリケーション（OCR ソフトウェア）を選択します。

④ **OCR 言語（「OCR」のみ）**

変換する言語を選択します。

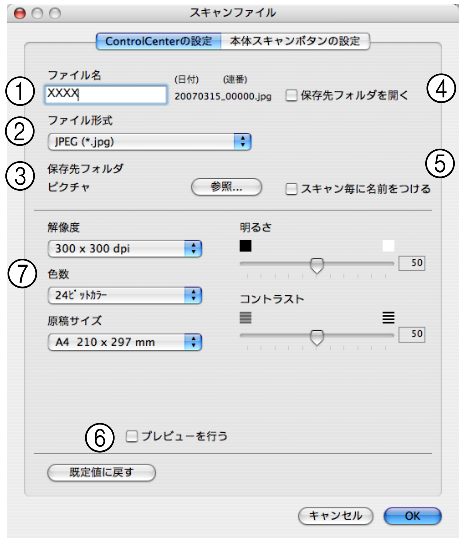
⑤ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑥ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

スキャンファイルの設定



① **ファイル名**

ファイル名の先頭の文字を変更できます。

② **ファイル形式**

データのファイル形式を選択します。

③ **保存先フォルダ**

スキャンしたデータを保存するフォルダを設定します。

④ **保存先フォルダを開く**

チェックすると、スキャンした後に保存先のフォルダを開きます。

⑤ **スキャン毎に名前をつける**

チェックすると、スキャンするたびに保存先のフォルダとデータの名前を設定することができます。

⑥ **プレビューを行う**

チェックすると、実際のスキャンを行う前に、スキャンイメージを確認したり、範囲を指定することができます。

⑦ **解像度／色数／原稿サイズ／明るさ／コントラスト**

必要に応じて設定します。

カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

スキャンの設定を登録する

1 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする



2 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

カスタムスキャンの設定画面が表示されます。

3 スキャンの名前と種類を設定する

「カスタムの名前」に、登録するスキャン設定の名前を入力します。

スキャンの種類は、「スキャンイメージ」「スキャン OCR」「スキャン E メール」「スキャンファイル」から選びます。



4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定する

スキャンの種類によって、表示される項目が異なります。

⇒ 113 ページ「スキャンイメージ /OCR/E メールの設定」
⇒ 113 ページ「スキャンファイルの設定」

5 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

カスタムスキャンを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「カスタム」をクリックする



3 実行するスキャンのボタンをクリックする



設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX

原稿をコピーしたり、Macintosh® からファクスを送信します。コピーとファクス送信時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーや PC-FAX の設定を登録する

1 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする

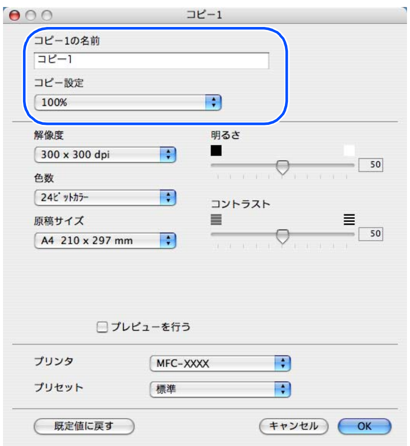


2 [Ctrl] キーを押しながらボタンをクリックする

コピー設定画面が表示されます。

3 コピーの名前とサイズを設定する

「コピーの名前」に、登録するコピー設定の名前を入力します。
「コピー設定」で、「100%」または「用紙サイズに合わせる」を選びます。



4 他の項目を必要に応じて設定する

解像度、色数、原稿サイズ、明るさ、コントラストが設定できます。

5 「プリンタ」で本製品を選択する

6 [OK] をクリックする

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットする

2 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする



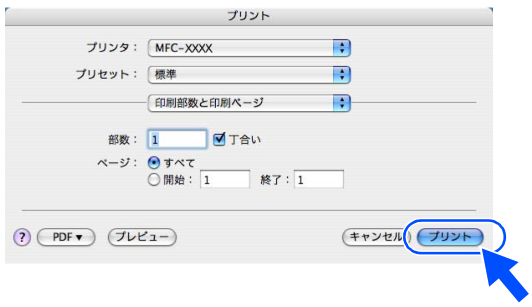
3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする



5 [プリント] をクリックする



コピーが実行されます。

ファクスする

スキャンしたデータをファクスとして送信します。

注意

■ DCP モデルをお使いの場合、この機能は使用できません。

1 原稿をセットする

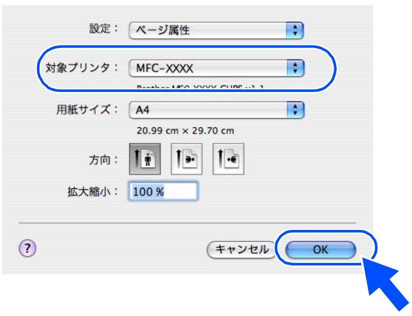
2 ControlCenter2 の「コピー」をクリックする



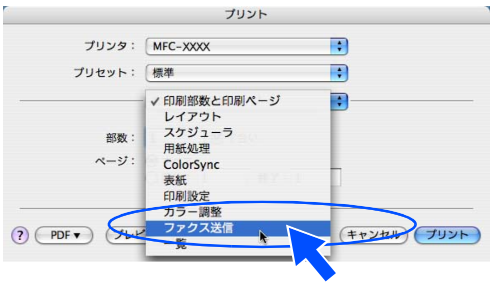
3 実行するコピーのボタンをクリックする

ページ設定画面が表示されます。

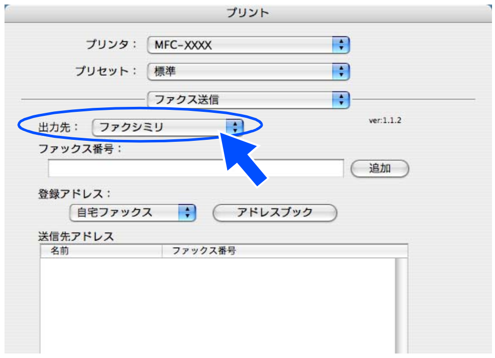
4 「対象プリンタ」で本製品のモデル名を選び、[OK] をクリックする



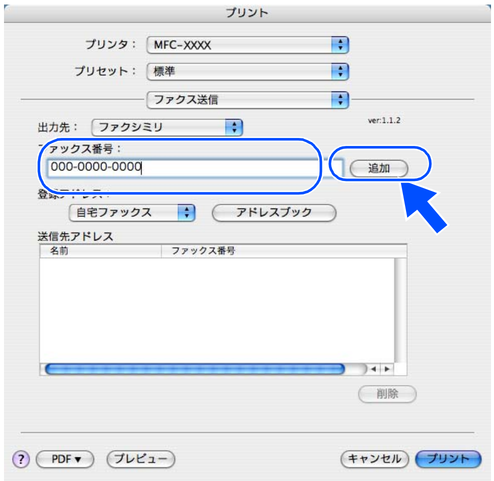
5 ポップアップメニューから［ファクス送信］を選ぶ



6 「出力先」で［ファクシミリ］を選ぶ



7 「ファクス番号：」にファクス番号を入力し、[追加] をクリックする



複数の相手にファクスを送信するときは、続けて「ファクス番号入力」にファクス番号を入力し、［追加］をクリックします。

8 ［プリント］をクリックする

ファクスが送信されます。

送るのをやめるときは、［キャンセル］をクリックします。

デバイス設定

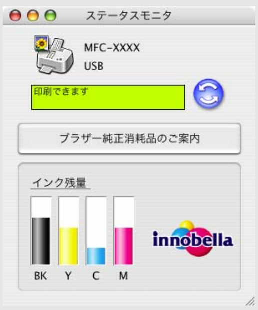
インク残量を確認したり、リモートセットアップを使って本製品の設定を確認できます。

本製品の設定を確認・変更する

1 ControlCenter2 の「デバイス設定」から、「リモートセットアップ」「電話帳」「インク残量」のいずれかをクリックする

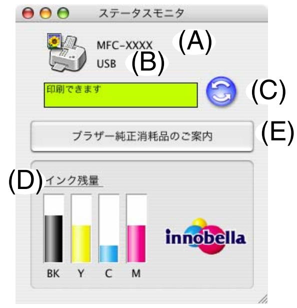


- 「リモートセットアップ」をクリックした場合
  リモートセットアップ画面が表示されます。パソコン上で、本製品に関する機能を設定できます。
  ⇒ 106 ページ「本製品の設定を Macintosh® から変更する」
- 「電話帳」をクリックした場合
  リモートセットアップの電話帳設定画面が表示されます。パソコン上で、本製品の電話帳を編集できます。
  ⇒ 108 ページ「本製品の電話帳を作成・変更する」
- 「インク残量」をクリックした場合
  ステータスモニタが表示されます。



> DCP モデルをお使いの場合は、「リモートセットアップ」と「電話帳」ボタンは表示されません。

ステータスモニタの画面について



(A) モデル名
インク残量を表示している本製品のモデル名が表示されます。

(B) 接続
USB 接続の場合は「USB」と表示されます。ネットワーク接続の場合はIPアドレスまたはドメイン名が表示されます。

(C) ステータスボタン
クリックすると、本製品の現在の状態が画面に表示されます。

(D) インク残量
本製品のインク残量が表示されます。

(E) ブラザー純正消耗品のご案内
クリックすると、ブラザー純正の消耗品に関する情報を提供しているホームページが表示されます。

付　録

エラーメッセージが表示されたときは

本製品の液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、ユーザーズガイドの「エラーメッセージ」をご確認ください。ユーザーズガイドに記載された処置方法を行ってもエラーが解決しないときは、電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた後で「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-590-381」へご連絡ください。

故障かな？と思ったときは (修理を依頼される前に)

故障かな？と思ったときは、ユーザーズガイドの「故障かな？と思ったときは」および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の Q & A をご確認ください。それでも異常があるときは、電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0120-590-381」へご連絡ください。

使用環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本製品とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS/CPU/ メモリ

- Windows® 2000 Professional
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB （推奨 256MB ）以上
- Windows ® XP
  Pentium® II プロセッサ　300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上
- Windows ® XP Professional x64 Edition
  AMD Opteron™ プロセッサ
  AMD Athlon™ 64 プロセッサ
  Intel ® EM64T に対応した Intel ® Xeon™
  Intel ® EM64T に対応した Intel ® Pentium4
  256MB（推奨 512MB）以上
- Windows Vista™
  1GHz 32 ビット（x86）または 64 ビット（x64）のプロセッサ
  512MB（推奨 1GB）以上

※ CD-ROM ドライブ必須
※ 本製品のすべての機能を快適にご使用いただくために、以下の環境を推奨します。

- Windows® 2000 Professional または Windows® XP Professional をお使いの場合
  1.0GHz 以上の 32 ビット（x86）プロセッサと 256MB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。
- Windows Vista™ Business をお使いの場合
  1.2GHz 以上の 32 ビット（x86）デュアルコアプロセッサと 1GB 以上のシステムメモリを搭載したパソコン。

ディスク容量

700MB 以上（Windows Vista™ 以外）/
1.1GB 以上（Windows Vista™）の空き容量

Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 5.5 以上が必要です。
※ Microsoft Internet Explorer 6 以上を推奨します。

インターフェース

- USB 2.0
- ネットワーク（10BASE-T ）/（100BASE-TX ）
  （ネットワーク対応モデルのみ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）
  （無線 LAN 対応モデルのみ）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Macintosh® の場合

本製品と Macintosh® を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS

Mac OS X 10.2.4 以降
PowerPC G3 350MHz 以上
（PowerPC G4/G5,Intel®Core™Solo/Duo 含む）
※ CD-ROM ドライブ必須

ディスク容量

480MB 以上の空き容量

インターフェース

- USB 2.0
- ネットワーク（10BASE-T ）/（100BASE-TX ）
  （ネットワーク対応モデルのみ）
- 無線ネットワーク（IEEE802.11b/g）
  （無線 LAN 対応モデルのみ）

※ LAN ケーブルは、市販品をご利用ください。
※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
※ USB2.0 ハイスピード対応の Macintosh® でもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。
※ USB1.1 対応の Macintosh® とも接続できます。

CPU のスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新の情報を公開しています。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp/

索　引

け

こ

さ

し

す

そ

て

ね

ふ

ま

め

よ

り

れ

わ

特許、規制

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows Vista™ の正式名称は、Microsoft® Windows Vista™ operating system です。

Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップル社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
Presto! PageManager は NewSoft Technology Corp. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion™ Inc. の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
Memory Stick 、メモリースティックはソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD-Picture Card は富士フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。
「デジカメ」は三洋電機株式会社の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。